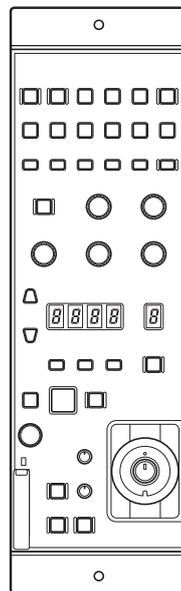


取扱説明書

<基本編>

リモートオペレーションパネル

品番 **AK-HRP200G**



● 取扱説明書の構成について

・基本編（本書）：

必要な機器との接続や、設置について説明しています。

本機を設置する前に、必ず基本編をお読みいただき、正しく設置してください。

・操作設定編：

本機の操作や設定のしかたについて説明しています。

- 取扱説明書の詳細については当社 Web サイト (<http://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書を参照してください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」（3～5ページ）を必ずお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

■ 商標および登録商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows® 7およびInternet Explorer®は、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel®、Core™はアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe®およびReader®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

■ 略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- 本書ではAK-HRP200Gを「AK-HRP200」と記載しています。
- SDメモリーカードとSDHCメモリーカードは、いずれも「メモリーカード」と記載しています。それぞれを分けて説明する場合は、個別に記載しています。
- 本書では、スタジオハンディカメラを「カメラ」と記載しています。
- 本書では、カメラコントロールユニットを「CCU」と記載しています。
- 本書では、リモートオペレーションパネルを「ROP」と記載しています。
- 本書では、マスターセットアップユニットを「MSU」と記載しています。
- 本書では、メモリーカードカメラレコーダーを「カメラレコーダー」と記載しています。

■ 本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します*

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

- * 経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

- 本商品とともに使用するメモリーカードに記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本商品が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合は、その取り扱いに十分に注意してください。メモリーカードは取り外し、保管管理してください。

もくじ

安全上のご注意	3	各部の名前とはたらき (リモートカメラ操作時)	20
はじめに	6	操作面	20
特長	7	各部の名前とはたらき (カメラレコーダー操作時)	27
使用上のご注意	7	操作面	27
設置上のご注意	8	各部の名前とはたらき (端子、ディップスイッチ)	34
設置のしかた	8	端子面	34
ラックマウント用金具の取り付け/取り外し	8	ディップスイッチ	34
ラックへの取り付け (ラックマウント)	8	システム接続図	35
外形寸法図	9	システム接続構成	35
動作モード	10	CCUとの接続	35
動作モードについて	10	リモートカメラとの接続	36
シリアル接続モードとIP接続モードの切り替えについて	10	カメラレコーダーとの接続	41
各部の名前とはたらき (スタジオハンディカメラ操作時)	11	保証とアフターサービス	42
操作面	11	修理を依頼されるとき	42
		定格	42
		さくいん	43

安全上のご注意 必ずお守りください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

	<p>■ 本機の設置や接続工事は販売店に依頼する (設置や接続工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。) ⇒ 必ず販売店に依頼してください。</p>
	<p>■ 電源を入れたまま設置や接続工事、配線をしない (火災や感電の原因となります。)</p>
<p>異常、故障時には直ちに使用を中止する</p>	
 電源プラグを抜く	<p>■ 異常があったときは、ROPケーブルと外部電源用DCコードを抜く [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音] [などが出たとき] (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。) ⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、ROPケーブルと外部電源用DCコードを抜く必要があります。 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ ROPケーブルと外部電源用DCコードは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだケーブルやゆるんだケーブルのまま使用しないでください。 (ROPケーブルと外部電源用DCコードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p>
	<p>■ ROPケーブルと外部電源用DCコードのほこりなどは、定期的にとる (ケーブルやコードにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。) ⇒ 半年に一度はケーブルやコードを抜いて、乾いた布で拭いてください。</p>
	<p>■ 外部DC電源は、電源電圧、およびDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する 誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。 ⇒ 詳しくは、本書の34ページを参照してください。 (DC電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくためにお守りください)</p>
	<p>■ 外部DC電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する 不適切な外部DC電源を使用すると火災の原因になります。 ⇒ 詳しくは、本書の34ページを参照してください。 ⇒ 外部DC電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。 ⇒ 外部DC電源は、電気用品安全法のマーク  の付いたものをご使用ください。</p>
	<p>■ 付属品・オプションは、指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)</p>

 **警告 (つづき)**

	<p>■ ROPケーブルや外部電源用DCコードが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱機器に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。) (ROPケーブルと外部電源用DCコードは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p>
	<p>■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 機器の上や近くに液体の入った花びんなどの容器や金属物を置かないでください。</p>
	<p>■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p>
 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機やROPケーブル、外部電源用DCコードには触れない (感電の原因になります。)</p>
 水場使用禁止	<p>■ 水場で使用しない (火災や感電の原因になります)</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手でROPケーブル、外部電源用DCコードやコネクタに触れない (感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 振動や強い衝撃を与えない (火災や感電の原因となります。)</p>
	<p>■ 開口部に手を入れない (けがや感電の原因となります。)</p>
	<p>■ メモリーカード (別売品) は乳幼児の手の届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>

 **注意**

	<p>■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない、] [通風孔は、ふさがない、横倒し、逆さまにしない (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)]</p>
	<p>■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になりますので、外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。) ⇒ 本機を絶対に放置しないでください。</p>
	<p>■ ROPケーブルや外部電源用DCコード、コネクタを抜くときは、ケーブルやコードを引っ張らない (ケーブルやコードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒ 必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。</p>
	<p>■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)</p>
 電源プラグ を抜く	<p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、ROPケーブルと外部電源用DCコードを本機から抜く (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ コードを接続した状態で移動しない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。)</p> <p>■ 1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談をする (本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。)</p>
	<p>■ 落としたり、破損させたりしない (本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。) ⇒ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>

はじめに

■概要

本機はスタジオハンディカメラ(AK-HC3800/AK-HC3500A)およびカメラコントロールユニット(AK-HCU200/AK-HCU355A)を制御するリモートオペレーションパネルです。スタジオハンディカメラとカメラコントロールユニット間は、専用の光ファイバーケーブルで接続し、本機とカメラコントロールユニット間は、ROPケーブルまたはIPで接続します。また、リモートカメラ、カメラレコーダーをシリアル接続またはIP接続することもできます。IP接続時は、スタジオハンディカメラとリモートカメラ、カメラレコーダーを最大19台制御することができます。

■必要なパーソナルコンピューター環境

本機に付属するソフトウェアは、下記のWebサイトに示すパーソナルコンピューターでご使用ください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

■メモリーカードについて

本機で使用するメモリーカードは、SD規格/SDHC規格に準拠したものをお使いください。また、メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。本機では、下記の容量のメモリーカードが使用できます。なお、SDXCメモリーカードには対応していません。

SDメモリーカード(8 MB ~ 2 GB まで)
SDHCメモリーカード(4 GB ~ 32 GB まで)

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のWebサイトをご参照ください。

(日本語) <https://panasonic.biz/cns/sav/>
(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

使用時、保管時は以下の点にお気をつけください。

- ・高温・多湿を避ける。
- ・水滴を付けない。
- ・帯電を避ける。

■アップグレード用ソフトウェアについて

アップグレード用ソフトウェアは、下記のWebサイトの「サポート&ダウンロード」から入手することができます。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

アップグレードの手順は、ダウンロードファイルに含まれている手順書に従って行ってください。

■ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ① 本機を経由した情報の漏えいや流出
- ② 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③ 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任のもと、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ・ファイアーウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- ・パーソナルコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや解除が定期的に行われていることを確認する。
- ・本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

ユーザー認証について

ネットワークに接続する場合、本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないためには、ユーザー認証を有効にしてアクセスを制限するなどの対策を実施してください。なお、本機をカメラレコーダーに接続する場合は、必ずユーザー認証を有効にする必要があります。

使用時の制約事項

接続する機器のネットワーク環境は、本機のネットワーク設定と同一のセグメントを推奨します。セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。

■免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③ お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④ 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

■取扱説明書について

取扱説明書(操作設定編)については、下記Webサイトを参照してください。
<http://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>

■ソフトウェアについて

IP簡単設定ソフトウェア・ROPセットアップソフトウェアについては、下記Webサイトのサポートデスクから入手することができます。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

特長

- 本機はスタジオハンディカメラ(AK-HC3800/AK-HC3500A)およびカメラコントロールユニット(AK-HCU200/AK-HCU355A)を制御するリモートオペレーションパネルです。また、リモートカメラ、カメラレコーダーを制御することもできます。
- シンプルなボタンレイアウトとIRIS制御レバーで、簡単、確実な運用操作ができます。
- メモリーカードへシーンファイルやユーザーファイル、レンズファイルを保存できます。(AK-HC3800のみ)
- シリアル接続で、CCU*¹ またはリモートカメラ*²、カメラレコーダー*³を1台接続することができます。
 - *¹ シリアル接続対応CCU: AK-HCU200/AK-HCU355A
 - *² シリアル接続対応リモートカメラ: AW-HE50/AW-HE60/AW-HE120/AW-HE870/AK-HC1500/AK-HC1800
 - *³ シリアル接続対応カメラレコーダー: AJ-PX5000
- ネットワークハブ(スイッチングハブ)(100base-TX)を介して最大19台までのCCU*⁴ またはリモートカメラ*⁵、カメラレコーダー*⁶を接続することができます。
 - *⁴ IP接続対応CCU: AK-HCU200
 - *⁵ IP接続対応リモートカメラ: AW-HE50/AW-HE60/AW-HE120/AW-HE2
 - *⁶ IP接続対応カメラレコーダー
IP接続に対応しているかどうかについては、カメラレコーダーの取扱説明書をご参照ください。
- IP簡単設定ソフトウェアを使って、本機およびCCUやリモートカメラのIPアドレスを設定できます。
- ROPセットアップソフトウェアを使って、カメラ接続の設定ができます。

使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

■取り扱いにはいないに

落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。また、アイリスレバーを持って持ち運びや移動はしないでください。故障や事故の原因になります。

■使用温度範囲は、0℃～40℃でお使いください

0℃を下回る寒いところや、40℃を超える暑いところでは内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

■ケーブルの抜き差しは電源を切ってから

ケーブルの抜き差しは、本機の電源が切れている状態(CCUの電源が切られている、ROPケーブルが抜かれている、外部DC電源が接続されていない)で行ってください。

■湿気、ホコリの少ないところで

湿気、ホコリの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますのでさけてください。

■お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤(中性)を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いた後、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。

<NOTE>

- ・ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- ・化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

■水をかけないでください

直接水をかけないでください。故障の原因になります。

■廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

設置上のご注意

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

本機を設置するときや接続工事を行うときは、必ず、販売店に依頼してください。

■ケーブルの接続について

- ・専用のROPケーブルを必ず使用してください。
- ・長時間使用しないときは、節電のためROPケーブルを本機から抜いてください。

■取り扱いにはいねいに

- ・落としたり、強い衝撃や振動を与えると、故障や事故の原因になります。

■内部に異物を入れないでください。

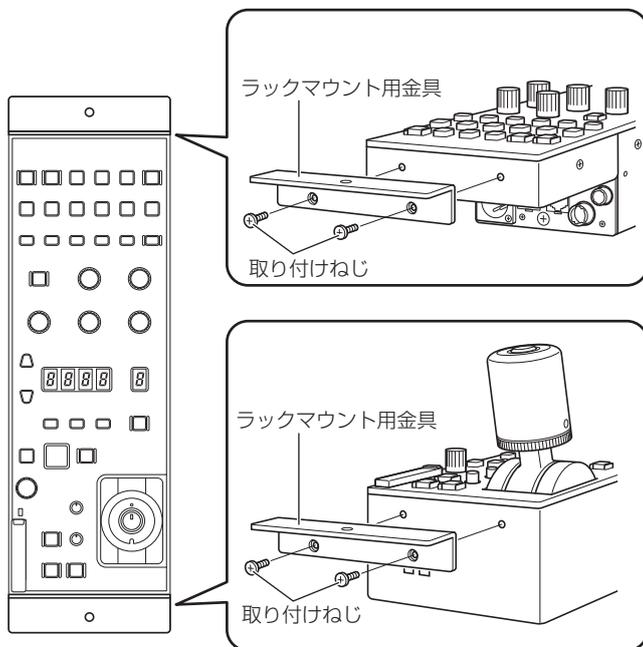
- ・水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

■設置場所について

- ・本機は屋内専用の機器です。
- ・十分な強度があり、安定した水平な場所に置いて使用してください。
- ・パネルやテーブルに埋め込んで使用する場合は、通気と配線の空間を十分に確保してください。
- ・本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください。
- ・0℃以下の寒いところや、40℃以上の暑いところに設置しないでください。
- ・直射日光の当たるところや温風の吹き出し口付近への設置は避けてください。
- ・湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。

設置のしかた

ラックマウント用金具の取り付け/取り外し



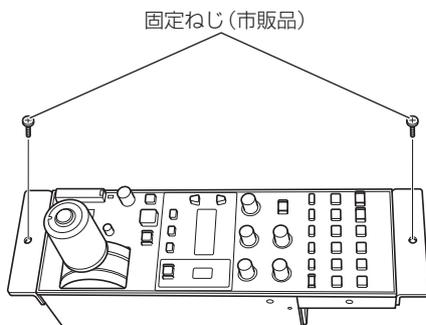
ラックマウント用金具は、工場出荷時にあらかじめ本機に取り付けられています。

ラックマウント用金具をお客様にて取り外される場合は、取り付けねじ(4本)をプラスドライバーで取り外してください。

<NOTE>

- ・取り外したラックマウント用金具と取り付けねじは、大切に保管してください。
- ・再度、ラックマウント用金具を取り付ける場合は、取り付けねじ(4本)で、締め付けトルク: 50 N・cm以上を目安として取り付けてください。

ラックへの取り付け(ラックマウント)



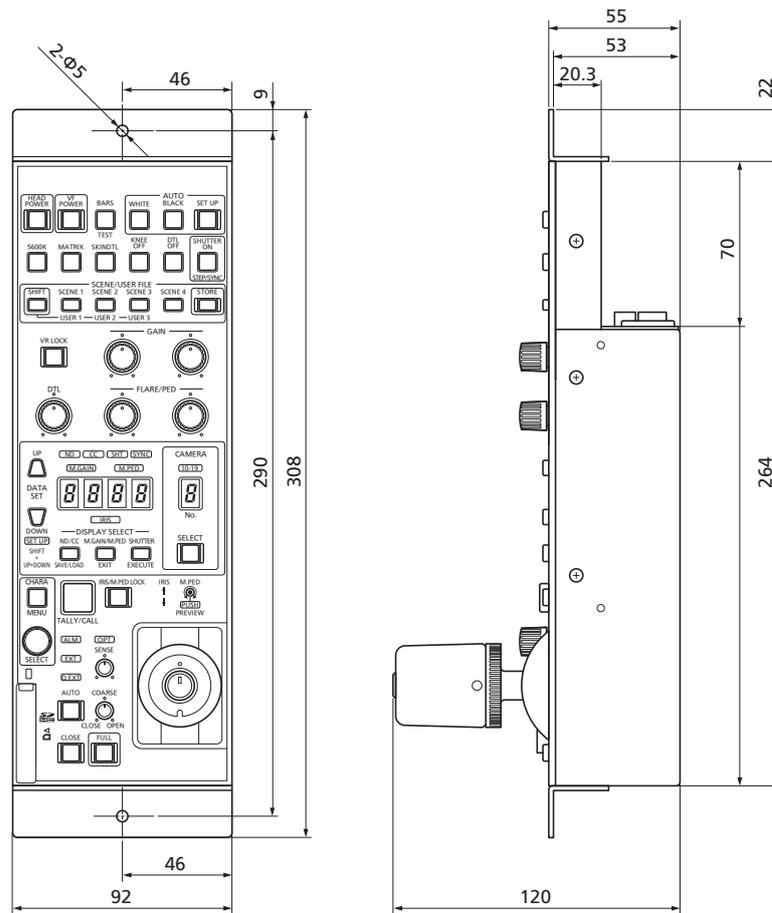
本機を固定ねじ(2本)でラックに取り付けてください。

<NOTE>

- ・固定ねじは本機に付属していません。φ5の穴に適用するねじをあらかじめご準備ください。
- ・ラック内の温度は0℃～40℃に保ってください。

外形寸法図

単位：mm



動作モード

動作モードについて

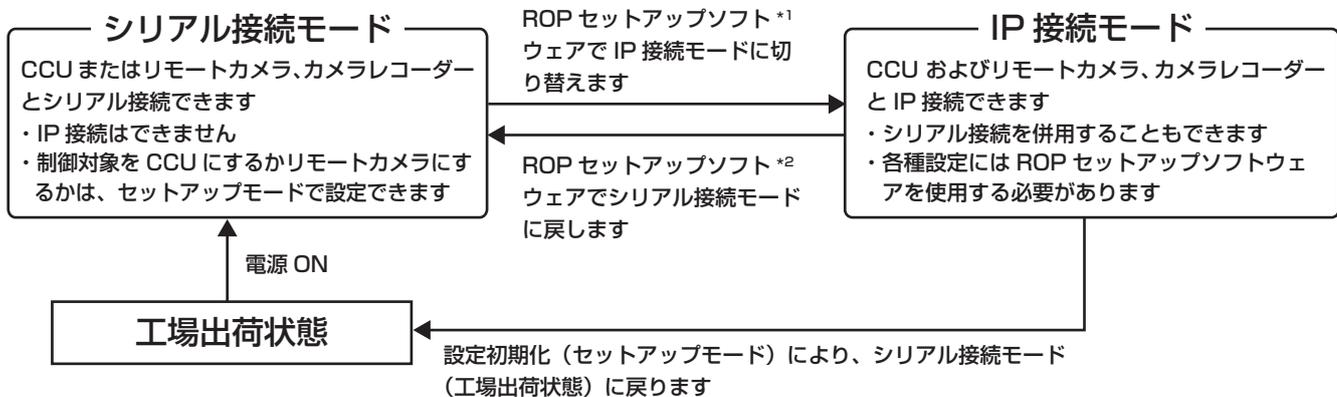
本機には「シリアル接続モード」と「IP接続モード」があります。

シリアル接続モード	CCUまたはリモートカメラ、カメラレコーダーのいずれか1台とシリアル接続で使用する動作モードです。 CCUまたはリモートカメラ、カメラレコーダーのいずれか1台のみ制御可能です。(カメラ切り替え操作はできません) 出荷時はシリアル接続モードです。
IP接続モード	CCU、リモートカメラおよびカメラレコーダーとIP接続で使用する動作モードです。 IP接続と同時にCCUまたはリモートカメラ、カメラレコーダーのいずれか1台とシリアル接続で使用することも可能です。 CCUまたはリモートカメラ、カメラレコーダーを最大19台まで制御可能です。(カメラ切り替え操作ができます) ROPセットアップソフトウェアを使用して各種設定を行います。

動作モード	接続構成	シリアル接続			IP接続	ROPセットアップソフトウェアの使用
		CCU	リモートカメラ	カメラレコーダー		
シリアル接続モード	CCUをシリアル接続する構成	○ (1台のみ)	× (接続不可)	× (接続不可)	— (接続しない)	不要
	リモートカメラをシリアル接続する構成	× (接続不可)	○ (1台のみ)	× (接続不可)	— (接続しない)	
	カメラレコーダーをシリアル接続する構成	× (接続不可)	× (接続不可)	○ (1台のみ)	— (接続しない)	
IP接続モード	IP接続のみの構成	— (接続しない)	— (接続しない)	— (接続しない)	○ (合計19台まで)	必要
	CCUをシリアル接続し、IP接続も併用する構成	○ (1台のみ)	× (接続不可)	× (接続不可)	○ (合計18台まで)	
	リモートカメラをシリアル接続し、IP接続も併用する構成	× (接続不可)	○ (1台のみ)	× (接続不可)	○ (合計18台まで)	
	カメラレコーダーをシリアル接続し、IP接続も併用する構成	× (接続不可)	× (接続不可)	○ (1台のみ)	○ (合計18台まで)	

シリアル接続モードとIP接続モードの切り替えについて

シリアル接続モードとIP接続モードの切り替えは、ROPセットアップソフトウェアで行います。ROPセットアップソフトウェアについては、取扱説明書〈操作設定編〉を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)
設定初期化(セットアップモード)を行うと、シリアル接続モード(工場出荷状態)に戻ります。



IP接続モードでは、運用中に最大19台のCCUまたはリモートカメラ、カメラレコーダーを切り替えて制御することができます。
シリアル接続モードでは、運用中に1台のCCUまたはリモートカメラ、カメラレコーダーのみ制御することができます。

*1 シリアル接続モードのとき

IP接続モードでメモリーカードに保存した「ROP設定ファイル」を読み込むと、IP接続モードになります。

*2 IP接続モードのとき

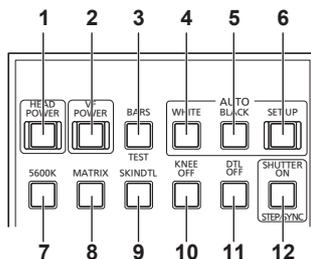
シリアル接続モードでメモリーカードに保存した「ROP設定ファイル」を読み込むと、シリアル接続モードになります。

各部の名前とはたらき(スタジオハンディカメラ操作時)

スタジオハンディカメラ(AK-HC3800/AK-HC3500A)の操作について説明します。

操作面

各ボタンが押されたときに操作音(ブザー)が鳴ります。ただし、セットアップモードで操作音がOFFに設定されている場合は鳴りません。



1. カメラ電源ボタン<HEAD POWER>

カメラの電源をリモート制御します。ただし、CCUの電源およびカメラ自体の電源が入っていないければ本機能は動作しません。押すたびにカメラの電源ON/電源OFFを切り替えます。

点灯(緑)：	カメラの電源がONの状態
点灯(赤)：	カメラ側で電源OFFされている状態
点滅(赤)：	本機から電源OFFされている状態
短点滅(赤)*1：	IP接続でネットワークの認証ができない状態
消灯：	CCU自体の電源が入っていない状態

*1 短点滅は、約0.5秒間隔の点滅です。
カメラを外部DC電源で使用している場合は点灯(緑)となり、本機からのカメラ電源のリモート操作はできません。

2. ビューファインダー電源ボタン<VF POWER>

カメラビューファインダーの電源をリモート制御します。ON時に点灯します。
本機でカメラの電源をONにした場合は、ビューファインダー電源も同時にONになります。
押すたびにON(電源入)/OFF(電源切)を切り替えます。

点灯(緑)：	カメラとビューファインダー電源がONの状態
消灯：	本機からビューファインダー電源がOFFされている状態

<NOTE>

ビューファインダーの電源スイッチがOFFされている場合は、リモート制御はできませんが、ボタンを押すたびに点灯(緑)/消灯が切り替わります。

3. カラーバー信号出力ボタン<BARS/TEST>

カメラからはカメラカラーバー信号が出力され、CCU背面のカメラ映像出力からカラーバー信号を出力できます。
CCUカラーバーの種類は、ROPメニューの[SYSTEM(1/2)]>[HD COLOR BAR]で選択することができます。(詳しくは取扱説明書<操作設定編>を参照してください。→6ページ「取扱説明書について」)
カメラカラーバーは、カメラメニューで選択可能です。(カメラの取扱説明書を参照してください)
映像信号がカメラまたはカラーバー信号のとき、カラーバー信号出力ボタン<BARS/TEST>を長押しするとTEST信号に切り替わります。TEST信号のときに、カラーバー信号出力ボタン<BARS/TEST>を押すとカメラ映像に切り替わります。

点灯(黄)：	CCUカラーバーおよびカメラカラーバーON
点灯(緑)：	TEST信号ON
消灯：	カメラ映像

4. オートホワイトバランスボタン<WHITE>

自動ホワイトバランス調整を実行します。

点灯：	自動ホワイトバランス調整の起動を受け付けたことを示します。
点滅：	自動ホワイトバランス調整の終了後、ホワイトバランスが十分に取られていないことを警告しています。ハイライト、ローライトでNGの場合は、元のホワイトバランスに戻します。その他の理由で十分にホワイトバランスが取れない場合には、収束された最後の状態で終了します。
消灯：	自動ホワイトバランス調整が良好に終了したことを示します。

ホワイトバランス調整中(点灯中)にオートホワイトバランスボタン<WHITE>を押すと、調整を中止して消灯します。このときホワイトバランス値は、オートホワイトバランス実行前の状態に戻ります。

<NOTE>

自動ホワイトバランス調整が完了しなかった場合は、CCUのピクチャーモニター(PM)の表示を確認してください。

5. オートブラックバランスボタン<BLACK>

自動ブラックバランス調整を実行します。
また、同時に自動白傷補正を実行します。

点灯：	自動ブラックバランス調整の起動を受け付けたことを示します。
点滅：	自動ブラックバランス調整の終了後、ブラックバランスが十分に取られていないことを警告しています。自動ブラックバランスを起動する前の状態に戻ります。
消灯：	自動ブラックバランス調整が良好に終了したことを示します。

ブラックバランス調整中(点灯中)にオートブラックバランスボタン<BLACK>を押すと、調整を中止して消灯します。このときブラックバランス値は、オートブラックバランス実行前の状態に戻ります。

<NOTE>

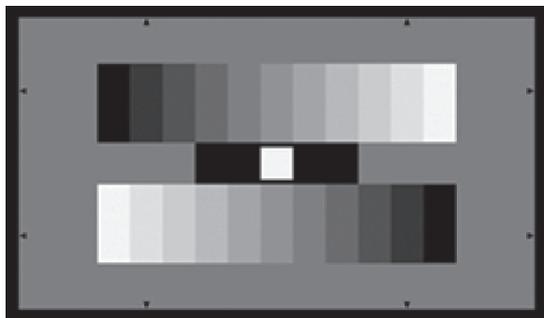
- 自動ブラックバランス調整が完了しなかった場合は、CCUのピクチャーモニター(PM)の表示を確認してください。
- オートブラックバランスボタン<BLACK>を長押しすると、ブラックシェーディング補正を実行します。

6. オートセットアップボタン<SETUP>

オートセットアップを実行します。
セットアップの状況は、ピクチャーモニターに出力されます。
ROPメニューの[FUNCTION]>[ASU SETUP]で、[OUT FULL]/
[OUT EASY]のモードを選択します。(詳しくは取扱説明書<操作設定編>を参照してください。→6ページ[取扱説明書について])

	外撮チャートによる標準セットアップ <オペレーション実行順序> AK-HC3800の場合: AWB→ABB→BSHD→ABB→AWB→FLARE→AWB AK-HC3500Aの場合: AWB→ABB→BSHD→ABB→AWB→GAMMA→FLARE →BSHD→ABB→AWB→GAMMA→FLARE→AWB
OUT FULL :	外撮チャートによる簡易セットアップ <オペレーション実行順序> AK-HC3800の場合: AWB→ABB→AWB→FLARE→AWB AK-HC3500Aの場合: AWB→ABB→AWB→GAMMA→FLARE→ABB→AWB →GAMMA→FLARE→AWB

グレースケールのくさび位置をビューファインダーの上下方向の画角に合わせてください。チャートの映す位置によっては、うまくオートセットアップできないことがありますので、チャートの映す位置を正しく合わせてください。



(推奨グレースケール)

● オートセットアップのしかた

1) <SETUP> を押す

<SETUP> が約2秒間隔で点滅して、オートセットアップ起動準備モードが確定し、カメラのビューファインダー中央に“□”が表示されます。グレースケールの中央の白をこの“□”に合わせます。(ここで長押しするとセットアップをキャンセルします)

2) 再度、<SETUP> を押す

<SETUP> が点灯状態となり、オートセットアップを開始します。(オートセットアップ動作中に<SETUP>を押すと、オートセットアップが中断します。)

正常に終了すると、<SETUP> が消灯します。

約1秒間隔で<SETUP> が点灯したときは、オートセットアップが完了せずに終了したことを示します。オートセットアップ動作中、ピクチャーモニター上にキャラクターで動作状態を表示します。

<NOTE>

オートセットアップが完了しなかった場合は、CCUのピクチャーモニター(PM)の表示を確認してください。

7. 5600 K ボタン<5600K>

5600 Kの色温度に対応したホワイトバランスになるように電気回路でRBの増幅率を変更します。5600K ボタン<5600K> をONした場合はBを約-6 dB減衰させ、Rは約3 dB増幅させますが、G映像信号は減衰させません。

5600 Kの光源下、屋外使用時に必要に応じて選択してください。

点灯 :	ON
消灯 :	OFF

8. マトリクスボタン<MATRIX>

マトリクスメモリの各色成分のゲイン調整値にもとづいて、彩度と色相を補正する機能を有効にします。押すたびにON/OFFが切り替わります。

点灯 :	ON
消灯 :	OFF

9. 肌色ディテールボタン<SKINDTL>

HDTV映像出力で肌色の部分のディテール強調にコアリングをかけて肌色のディテールを緩和、強調します。押すたびにON/OFFが切り替わります。

点灯 :	ON
消灯 :	OFF

10. ニーOFFボタン<KNEE OFF>

映像信号のあるレベル(ニーポイント)を越えた部分については減衰をかけて飽和しにくくする機能(ニー機能)を無効にします。

点灯 :	ニー機能無効(ニーOFF)
消灯 :	ニー機能有効

11. ディテールOFFボタン<DTL OFF>

映像出力の輪郭の強調(硬軟)機能(ディテールエンハンサー)を無効にします。

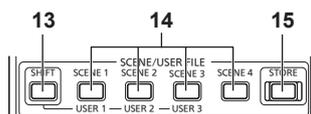
点灯 :	輪郭の強調機能無効(ディテールエンハンサーOFF)
消灯 :	輪郭の強調機能有効(ディテールエンハンサーON)

12. シャッターON/OFFボタン<SHUTTER ON>

STEP/SYNC選択ボタン<STEP/SYNC>

SHUTTERをON/OFFします。本ボタンを長押しすると、STEP/SYNCHROが切り替わります。SHUTTER ON時にSHUTTER表示選択ボタン<SHUTTER>およびSHUTTER表示部<SHT>が点灯し、調整値表示部に設定が約2秒間表示されます。

点灯 :	SUTTER ON (STEP/SYNCHROを選択できます)
消灯 :	SUTTER OFF (STEP/SYNCHROを選択できます)



13. シーン/ユーザーファイル切り替えボタン<SHIFT>

シーン/ユーザーファイル選択ボタンを、シーンファイル選択がユーザーファイル選択のどちらで使用するかを切り替えます。本ボタンと同時にシーン/ユーザーファイル選択ボタン1~3 <SCENE 1/USER 1> ~ <SCENE 3/USER 3> を押すと、ユーザーファイル1~3を選択できます。

シーンファイル	主にビデオエンジニア (VE) が扱う絵作り用のデータです。
ユーザーファイル	シーンファイルとオペレーションデータで構成されるシステムセッティング用のデータ (リファレンスファイル) です。ユーザーによる登録が可能です。

シーンファイル、ユーザーファイルについての詳細は、取扱説明書<操作設定編> (→6ページ「取扱説明書について」参照) およびスタジオハンディカメラ (AK-HC3800) の取扱説明書を参照してください。

<NOTE>

データセットボタン (上) <UP> とデータセットボタン (下) <DOWN> およびシーン/ユーザーファイル切り替えボタン <SHIFT> を約2秒間同時に押すと、セットアップモードに移行します。

セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

14. シーン/ユーザーファイル選択ボタン

<SCENE 1/USER 1> ~ <SCENE 3/USER 3> ・
<SCENE 4>

あらかじめ保存されたシーンファイル (1~4) もしくはユーザーファイル (1~3) を必要に応じて呼び出すことができます。シーンファイル (1~4) もしくはユーザーファイル (1~3) を登録するときにも使用します。

点灯:	シーンファイルが選択されています
消灯:	シーンファイルは選択されていません
約1秒間点灯して消灯:	ユーザーファイルが選択されたことを示します

● シーンファイルの呼び出しかた

呼び出したいシーンファイルに対応する番号1~4のシーン/ユーザーファイル選択ボタン<SCENE 1/USER 1> ~ <SCENE 3/USER 3> または <SCENE 4> を押す

押されたボタンが点灯し、シーンファイルが呼び出されます。

呼び出しが終わってもボタンは点灯したままです。

シーンファイルの呼び出しを止める場合は、点灯しているシーン/ユーザーファイル選択ボタンを押して消灯します。

シーンファイル呼び出し前に一時退避されていた設定情報が復帰し、設定状態もシーンファイル呼び出し前に戻ります。

点灯しているシーン/ユーザーファイル選択ボタン以外のシーン/ユーザーファイル選択ボタンを押して点灯させると、点灯させたファイル番号のシーンファイルが新たに呼び出されます。

<NOTE>

- シーンファイルが選択された状態または選択中に設定を調整した場合、電源をOFFにした後も調整した状態が保持されます。
 - AK-HC3500A 接続時にシーンファイル5が選択されているときは、本機のシーンファイル1<SCENE 1/USER 1> ボタンが点滅します。同様にシーンファイル6~8は、それぞれシーンファイル2~4<SCENE 2/USER 2> ~ <SCENE 4> ボタンが点滅します。
- 本機からシーンファイル5~8を呼び出すことはできません。

● ユーザーファイルの呼び出しかた

<SHIFT> を押しながらか呼び出したいユーザーファイルに対応する番号1~3のシーン/ユーザーファイル選択ボタン<SCENE 1/USER 1> ~ <SCENE 3/USER 3> を押す

押されたボタンが点灯し、約1秒後にユーザーファイルが呼び出され、約1秒後にそのボタンが消灯します。

<NOTE>

ユーザーファイルを呼び出した場合は、その前に選択されていたシーンファイルは解除されます。

- <TALLY/CALL> を押しながらか<SHIFT> と<SCENE 4> を押すと、カメラのシーンファイルおよびユーザーファイルを工場出荷時の設定に戻すことができます。実行後は、CCUの電源を一度OFFにしてください。
- CCUのシーンファイルおよびユーザーファイルを工場出荷時の設定に戻す場合は、CCUメニューの[MAINTENANCE]> [SYSTEM]> [INITIALIZE] を実行してください。

15. シーン/ユーザーファイル登録ボタン<STORE>

シーンファイル1~4およびユーザーファイル1~3を登録します。

点灯:	シーンファイルまたはユーザーファイルが登録可能であることを示します
消灯:	シーンファイルまたはユーザーファイルの登録完了およびキャンセルを示します

● シーンファイル1~4の登録のしかた

1) <STORE> を押す

ボタンが点灯します。

2) 登録したいシーン番号のシーン/ユーザーファイル選択ボタン<SCENE 1/USER 1> ~ <SCENE 3/USER 3> または <SCENE 4> を押す

ボタンが点灯し、シーンファイルの登録を開始します。

登録が完了するとボタンが消灯します。

登録完了後、登録したシーンファイルがそのまま選択状態になり、シーン/ユーザーファイル選択ボタンが点灯します。

<NOTE>

- シーンファイル呼び出し後に調整を行い、登録操作を行った場合は、その時点の状態がシーンファイルに登録され、登録したシーンファイルがそのまま選択状態になり、シーン/ユーザーファイル選択ボタンが点灯します。
- AK-HC3500A 接続時にシーンファイル5~8を登録することはできません。

● ユーザーファイル1~3の登録のしかた

1) 登録したい状態にカメラを調整・設定する

2) <STORE> を押す

ボタンが点灯します。

3) その状態で<SHIFT> を押しながらか登録したいユーザーファイル番号のシーン/ユーザーファイル選択ボタン<SCENE 1/USER 1> ~ <SCENE 3/USER 3> を押す

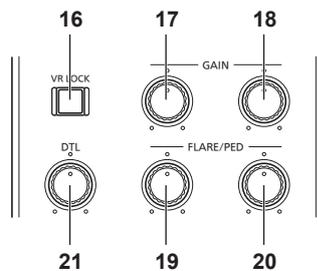
ボタンが点灯し、登録を開始します。

登録が完了するとシーン/ユーザーファイル登録ボタン

<STORE> が消灯します。シーン/ユーザーファイル選択ボタンも消灯します。

<NOTE>

シーンファイルが選択された状態または選択中で、ユーザーファイルに登録した場合は、選択されているシーンファイル (または選択中のシーンファイル) は解除されません。



16. ボリュームロックボタン<VR LOCK>

ペイントボリュームの操作をロック (無効) にします。対象のペイントボリュームはGAIN(R,B)、PED/FLARE(R,B)、DTLです。押すたびにON/OFFを切り替えます。

点灯：	ON (ペイントボリューム値をロックします)
消灯：	OFF (ペイントボリューム値が変化します)

● ボリュームロックボタン<VR LOCK>の使い方

1) 各項目をボリューム (17~21) で調整する

2) <VR LOCK> を押す

ボタンが点灯します。

本機はこの時点のペイントボリューム値を記憶しています。

3) ボリュームまわして中央にセットする

4) もう一度<VR LOCK> を押す

ボタンが消灯してボリュームロックが解除されます。

この時点のボリュームの位置が、手順2で記憶したペイントボリューム値にセットされます。

17. Rゲインボリューム<GAIN R>

ホワイトバランスの赤 (R) の調整用ボリュームです。ボリュームロック (VR LOCK) の対象です。

18. Bゲインボリューム<GAIN B>

ホワイトバランスの青 (B) の調整用ボリュームです。ボリュームロック (VR LOCK) の対象です。

19. Rフレア/ペDESTALボリューム<FLARE/PED R>

ペDESTALもしくはフレアの赤 (R) の調整用ボリュームです。ペDESTALとフレアのどちらを対象とするかは本機のセットアップモードで決めます。

ボリュームロック (VR LOCK) の対象です。

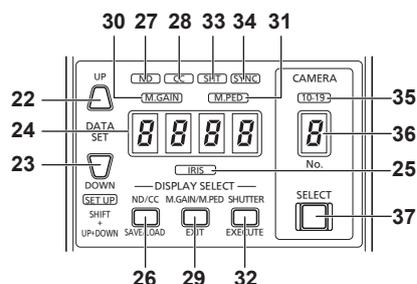
20. Bフレア/ペDESTALボリューム<FLARE/PED B>

ペDESTALもしくはフレアの青 (B) の調整用ボリュームです。ペDESTALとフレアのどちらを対象とするかは本機のセットアップモードで決めます。

ボリュームロック (VR LOCK) の対象です。

21. DTLボリューム<DTL>

ディテールエンハンサーの効果の加減調整用ボリュームです。ボリュームロック (VR LOCK) の対象です。



22. データセットボタン (上) <UP>

NDフィルター/CCフィルター、M.GAIN、SHUTTER/SYNCHRO表示時に、設定値を増加方向に選択操作できます。押すたびに選択値が増加します。

点灯： 操作可能です
消灯： 操作できません

<NOTE>

- スタジオハンディカメラAK-HC3800ではCCフィルターは使用できません。
- データセットボタン (上) <UP>とデータセットボタン (下) <DOWN>およびシーン/ユーザーファイル切り替えボタン <SHIFT>を約2秒間同時に押すと、セットアップモードに移行します。セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

23. データセットボタン (下) <DOWN>

NDフィルター/CCフィルター、M.GAIN、SHUTTER/SYNCHRO表示時に、設定値減少方向に選択操作できます。押すたびに選択値が減少します。

点灯： 操作可能です
消灯： 操作できません

<NOTE>

- スタジオハンディカメラAK-HC3800ではCCフィルターは使用できません。
- データセットボタン (上) <UP>とデータセットボタン (下) <DOWN>およびシーン/ユーザーファイル切り替えボタン <SHIFT>を約2秒間同時に押すと、セットアップモードに移行します。セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

24. 調整値表示部 (4桁)

調整値を表示します。

電源ON時はIRIS値を表示します。表示選択ボタンのいずれかを押すと選択した調整値の表示に切り替わります。各調整値の範囲とスタンダードポジション (工場出荷設定) を示します。

項目	調整範囲 AK-HC3800の場合	表示	スタン ダードポ ジション
IRIS		—■■■	
ND	1~4 1: クリア 2: 1/4 3: 1/16 4: 1/64	■——	1
CC	AK-HC3800ではサポート していません	—■——	A
M.GAIN	-3~12 (3dBステップ)、 18、27、36 ・カメラの設定により変わ ります。	■■——	0
M.PED	-99~0~12	—■■■	0
SHUTTER	● 59.94 Hzのとき STEP: 1/100~1/2000 SYNCHRO: 61.7~6130 ● 50 Hzのとき STEP: 1/60~1/2000 SYNCHRO: 51.5~6250	■■■■	-

<NOTE>

接続するカメラにより、調整範囲、スタンダードポジションは異なる場合があります。

25. IRIS表示部 <IRIS>

調整値表示部にIRIS値を表示しているときに緑点灯します。

電源ON時はIRIS値を表示します。

また、調整値表示部にIRIS以外を表示している場合に、アイリスレバーを操作したとき約2秒間IRIS値を表示します。

26. NDフィルター/CCフィルター表示選択ボタン<ND/CC> SAVE/LOADボタン<SAVE/LOAD> (セットアップモード時)

NDフィルター/CCフィルターの調整値を表示、変更するときに押し
ます。

点灯 (黄) :	NDフィルター/CCフィルターの調整値を表示中
消灯 :	NDフィルター/CCフィルター以外の調整値を表示中

<NOTE>

スタジオハンディカメラAK-HC3800ではCCフィルターは使用で
きません。

● NDフィルター/CCフィルター表示、設定のしかた

1) IRIS表示状態もしくは他の表示選択状態 (M.GAIN/M.PED、 SHUTTER) で<ND/CC>を押す

ボタンが点灯するとともにNDフィルター表示部<ND>が緑
色に点灯します。(ただし、NDフィルターもしくはCCフィル
ターがスタンダードポジションでない場合は常時黄点灯してい
ます)

2) 点灯しているデータセットボタン<UP> <DOWN>を押す

NDフィルター調整値を変更できます。

3) 再度、<ND/CC>を押す

NDフィルター表示部<ND>が消灯、CCフィルター表示部
<CC>が緑色に点灯し、調整値表示部にCC調整値が表示され
ます。点灯しているデータセットボタン<UP> <DOWN>を
押すと、CCフィルター調整値を変更できます。
スタジオハンディカメラAK-HC3800はCCフィルターなしの
ためバー表示になります。

4) 再度、<ND/CC>を押す

ボタンが消灯するとともにNDフィルター表示部<ND>とCC
フィルター表示部<CC>が消灯します。(ただし、NDフィルター
もしくはCCフィルターがスタンダードポジションでない場合
は継続して常時黄点灯しています)
このとき調整値表示部はIRIS表示に戻ります。
他の表示選択ボタン (<M.GAIN/M.PED>、<SHUTTER>)
を押すとこのボタンは消灯して選択した表示になります。

セットアップモード時は、サブメニューの切り替えを行います。
セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照し
てください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

27. NDフィルター表示部<ND>

調整値表示部にNDフィルター調整値を表示しているときに緑点灯し
ます。

NDフィルター調整値がスタンダードポジションでないときは、調整
値表示部の表示内容にかかわらず常時黄点灯します。
(スタンダードポジション: 1)

28. CCフィルター表示部<CC>

調整値表示部にCCフィルター調整値を表示しているときに緑点灯し
ます。

CCフィルター調整値がスタンダードポジションでないときは、調整
値表示部の表示内容にかかわらず常時黄点灯します。
(スタンダードポジション: A)

<NOTE>

スタジオハンディカメラAK-HC3800ではCCフィルターは使用で
きません。

29. M.GAIN/M.PED表示選択ボタン<M.GAIN/M.PED>

EXITボタン<EXIT> (セットアップモード時)

M.GAINおよびM.PEDの調整値を表示、変更するときに押し
ます。M.PEDは表示のみで、調整はデータセットボタン<UP>
<DOWN>では出来ません。アイリスレバーのマスターペダスタル
ボリューム<M.PED>で調整します。

● M.GAIN/M.PED表示、設定のしかた

1) IRIS表示状態もしくは他の表示選択状態 (ND/CC、 SHUTTER) で<M.GAIN/M.PED>を押す

ボタンが点灯するとともにM.GAIN表示部<M.GAIN>が緑点
灯します。(ただし、M.GAINがスタンダードポジションでない
場合は常時黄点灯しています)

2) 点灯しているデータセットボタン<UP> <DOWN>を押す

M.GAIN調整値を変更できます。

3) 再度、<M.GAIN/M.PED>を押す

M.GAIN表示部<M.GAIN>が消灯し、M.PED表示部
<M.PED>が緑点灯します。(ただし、M.PEDがスタンダード
ポジションでない場合は、常時黄点灯しています)

4) 再度、<M.GAIN/M.PED>を押す

ボタンが消灯するとともにM.PED表示部<M.PED>が消灯し
ます。(ただし、M.GAINもしくはM.PEDがスタンダードポジ
ションでない場合は継続して常時黄点灯しています)
このとき調整値表示部はIRIS表示に戻ります。

<NOTE>

M.PEDの調整は、マスターペダスタルボリュームで行います。(表
示状態にかかわらず常時有効です)
他の表示選択ボタン (<ND/CC>、<SHUTTER>) を押すとこの
ボタンは消灯して選択した表示になります。

セットアップモード時に約2秒間押し、セットアップモードを終了
します。

セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照し
てください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

30. M.GAIN表示部<M.GAIN>

調整値表示部にM.GAIN調整値を表示しているときに緑点灯します。
M.GAIN調整値がスタンダードポジションでないときは、調整値表示
部の表示内容にかかわらず常時黄点灯します。
(スタンダードポジション: 0)

M.GAINが調整対象に選択されているときは、M.GAINの調整値表示
部が点灯します。

31. M.PED表示部<M.PED>

調整値表示部にM.PED調整値を表示しているときに緑点灯します。
M.PED調整値がスタンダードポジションでないときは、調整値表示
部の表示内容にかかわらず常時黄点灯します。
(スタンダードポジション: 0)

調整値表示部にM.PED以外を表示している場合に、マスターペダ
スタルボリューム<M.PED>を操作したとき約2秒間M.PED調整値を
表示します。

<NOTE>

M.PEDの調整は、マスターペダスタルボリューム<M.PED>で行い
ます。(表示状態にかかわらず常時有効です)

32. SHUTTER表示選択ボタン<SHUTTER>

EXECUTEボタン<EXECUTE> (セットアップモード時)

SHUTTERの調整値を表示、変更するときに押します。

<NOTE>

シャッターON/OFFボタン<SHUTTER ON>がOFFの状態でも、SHUTTER表示選択ボタン<SHUTTER>は操作可能で、SHUTTER調整も可能です。(運用前調整ができます)

● SHUTTERの表示、設定のしかた

STEP/SYNC選択ボタン<STEP/SYNC>を約2秒間押しと、調整値をSTEPとSYNCで切り替えることができます。SYNCHRO選択時はSYNCHRO表示部が緑に点灯します。

1) IRIS表示状態もしくは他の表示選択状態 (NDフィルター/CCフィルター、M.GAIN/M.PED) で<SHUTTER>を押す

ボタンが点灯するとともに、STEP/SYNCの選択されている方のシャッター表示部<SHT>が緑点灯します。

このとき調整値表示部にはSTEP/SYNC選択ボタン<STEP/SYNC>で選択されたSTEPまたはSYNCHROのSHUTTER調整値が表示されます。

2) 点灯しているデータセットボタン<UP> <DOWN>を押す

SHUTTER調整値を変更できます。

3) 再度<SHUTTER>を押す

ボタンが消灯するとともにSHUTTER表示部<SHT>が消灯します。

このとき調整値表示部はIRIS表示に戻ります。

他の表示選択ボタン (<ND/CC>、<M.GAIN/M.PED>) を押しとこのボタンは消灯して選択した表示になります。

セットアップモード時は、メニューや設定値を確定します。

セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

33. SHUTTER表示部<SHT>

調整値表示部にSHUTTER調整値を表示しているときに、緑点灯します。

<NOTE>

STEP/SYNC選択ボタン<STEP/SYNC>を約2秒間押しと、調整値をSTEPとSYNCで切り替えることができます。SYNCHRO選択時はSYNCHRO表示部<SYNC>が緑点灯します。

34. SYNCHRO表示部<SYNC>

調整値表示部にSHUTTER(SYNC)調整値を表示しているときに緑点灯します。STEP表示時は消灯します。

消灯:	SHUTTERがSTEPモードのとき
点灯:	SHUTTERがSYNCHROモードのとき

<NOTE>

STEP/SYNC選択ボタンを約2秒間押しと、調整値をSTEPとSYNCHROで切り替えることができます。

35. カメラナンバー 10位表示部<10-19>

カメラナンバーが10~19のときに点灯します。カメラナンバーは、セットアップモードで設定します。

点灯:	カメラナンバーが10~19
消灯:	カメラナンバーが1~9
点滅:	ナンバーが20~22 (セットアップモード時のみ)

36. カメラナンバー表示部<No.>

カメラナンバーおよびセットアップモード時のメニュー番号を表示します。ナンバーが10~19、20~22の場合は1の位の数値を表示します。10の位はカメラナンバー10位表示部で表示します。(カメラナンバー10位表示部が10~19の場合は点灯、20~22の場合は点滅します。)

カメラナンバーは、セットアップモードで設定します。

<NOTE>

AK-HC3500A接続時は、カメラナンバーは1~15が有効です。16~19に設定しないでください。

37. カメラ選択ボタン<SELECT>

本機の制御権とIRIS/M.PEDの有効無効を他のROPもしくはMSUから取得するときに使用します。また、制御対象のカメラを選択するときにも使用します。

点灯:	本機の制御権が有効です。 IRIS/M.PEDが有効です。
点滅:	本機の制御権が無効です。(他のROPに制御権があります) IRIS/M.PEDが無効です。
消灯:	本機の制御権が有効です。 IRIS/M.PEDが無効です。

● IRIS/M.PEDの有効、無効の操作について

本機でIRIS/M.PEDが有効なときは、カメラ選択ボタン<SELECT>が点灯します。

他のROPやMSUのIRIS/M.PEDが有効なときは、カメラ選択ボタン<SELECT>が消灯または点滅します。

● 制御対象のカメラ選択のしかた

本機に接続されているカメラを選択して制御することができます。

1) カメラ選択ボタン<SELECT>を約2秒間長押しする

カメラナンバー表示部<No.>のカメラ番号が点滅します。

2) 点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>を押す

点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>を押し、カメラ番号を選択します。

3) カメラ選択ボタン<SELECT>を押す

カメラ選択ボタン<SELECT>が消灯し、制御権が有効となります。IRIS/M.PEDは無効となります。

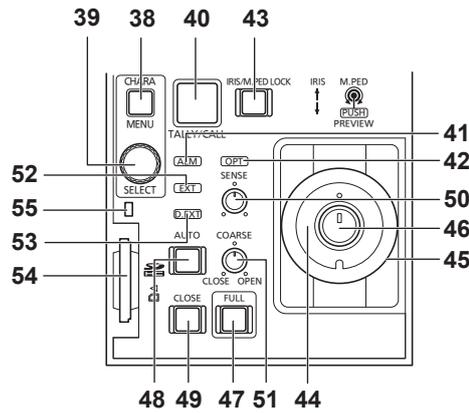
<NOTE>

カメラ選択ボタンを押してカメラを選択したときに、カメラ選択ボタンが点滅し続ける場合は、通信が確立できていません。カメラ番号に割り当てられているカメラの設定を確認してください。

● 複数のROPの接続時の注意

複数のROPをIP接続で一台のCCUに接続した場合、制御権が有効な1台のROPでのみ操作が可能です。(制御権が有効なROPのカメラ選択ボタン<SELECT>は点灯しています)その他のROPのカメラ選択ボタン<SELECT>は点滅し、制御権が無効なため、カメラに対し操作できなくなります。カメラ選択ボタン<SELECT>が点滅状態でボタンを押すと、ボタンを押したROPの制御権が有効となり、操作が可能となります。カメラ選択ボタン<SELECT>は消灯します。カメラ選択ボタン<SELECT>ボタンを再度押しと、カメラ選択ボタン<SELECT>が点灯し、IRIS/M.PEDも有効となります。その際、他のROPのカメラ選択ボタン<SELECT>は点滅し、操作できなくなります。

1台のCCUに対し、3台のROPを接続できます。4台以上のROPはカメラ選択ボタン<SELECT>が消灯し、制御権も無効となります。



38. キャラクター/メニューボタン<CHARA/MENU>

ピクチャーモニター (PM) に表示するキャラクター (ステータス画面) の ON/OFF を切り替えます。

長押し (約 2 秒) するとピクチャーモニター (PM) に ROP メニューが表示されます。

ROP メニューについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6 ページ「取扱説明書について」参照)

短押し	PM にキャラクターを表示します。
(点灯):	短押しするたびに表示内容が切り替わります。
長押し	PM のキャラクター表示を OFF します。
(消灯):	

PM にキャラクターを表示しているときに ROP メニューを表示させる場合は、ボタンを長押しして一度キャラクター表示を OFF にしてください。

長押し	PM に ROP メニューを表示します。
(点灯):	
長押し	PM の ROP メニュー表示を OFF します。
(消灯):	

ROP メニューを表示しているときにキャラクターを表示させる場合は、ボタンを長押しして一度 ROP メニュー表示を OFF にしてください。

<NOTE>

キャラクターが表示されない場合は映像出力が PM に設定されていません。CCU の SDI3&4 もしくは VBS 出力にキャラクターが表示されていますので使用する環境に合わせた設定にしてください。

39. 選択ダイヤル<SELECT>

ピクチャーモニター (PM) に ROP メニューを表示しているときに、メニュー操作を行います。

ROP メニューについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6 ページ「取扱説明書について」参照)

右に回す:	選択値の増加、メニューの下方向選択
左に回す:	選択値の減少、メニューの上方向選択
押す:	選択値の確定、メニューの選択確定

40. レッド/グリーンタリー表示部、コールボタン<TALLY/CALL>

CCU のコミュニケーションコネクタにレッドタリー入力があると赤に点灯します。

グリーンタリー入力があると緑に点灯します。両方入力されているときは赤に点灯します。

ボタンを押すとコールスイッチとして動作します。無点灯時は、押ししている間ボタンが点灯します。点灯時は、押ししている間ボタンが消灯します。また、無点灯時、点灯時ともに、ボタンを押すとカメラ、CCU 側のコールランプとカメラ側で設定された表示灯 (TALLY) が点灯します。

カメラ側または CCU 側でコールスイッチを押すと、押ししている間本機のブザーが鳴ります (ブザー設定 ON 時)。同時に消灯状態の場合は赤に点灯し、赤点灯もしくは緑点灯状態の場合は消灯します。

<NOTE>

CCU と IP 接続している場合、コールボタンを押ししている間、AK-HC3800 の表示灯 (コールランプ) は点滅します。

41. アラーム表示部<ALM>

警告表示灯です。

異常の場合は、販売店にご相談ください。

点灯:	カメラのファンが異常停止しているときに点灯します。 アラーム内容は CCU の PM に表示することができます。 アラーム発生時は本機のキャラクター/メニューボタン<CHARA/MENU>が点灯して CCU の PM にアラーム表示画面を割り込み表示されます。
点滅:	本機の電源電圧が低下していることを示します
消灯:	正常動作状態

42. 光アラーム表示部<OPT>

光伝送の警告表示灯です。

カメラ/CCU の光受信強度が弱い場合には、黄点灯もしくは赤点灯になります。

光ファイバーケーブルの接続および勘合が不十分な場合がありますので、カメラ/CCU の光ファイバーケーブルを一度抜いて再度差し込み、勘合を確認してください。それでも改善されない場合は、CCU の電源を切り、カメラと CCU の光ファイバーケーブルを外して、光コンタクト部の清掃を行ってください。清掃はアルコールを浸した綿棒などで軽くファイバー面を拭いてください。

消灯:	正常状態 (受信光強度 4~5)
点灯 (緑):	光受信強度 2~3
点灯 (赤):	光受信強度 1、またはケーブル未接続

43. アイリス/マスターペダスタルロックボタン<IRIS/M.PED LOCK>

アイリス、M.PED を操作無効 (ロック) にします。

このとき赤に点灯します。

もう一度ボタンを押すとロックが解除されます。

消灯:	アイリス、M.PED が制御できます。
赤点灯:	操作無効 (ロック) 状態です。 操作無効 (ロック) 中に、アイリスレバーが動かされたことを示しています。

赤点滅: (1 秒ごとの早い点滅)
アイリスレバーをロック時の位置に戻すと、消灯して通常の制御が可能になります。
制御対象のカメラを切り替えたときに、カメラの調整値とアイリスレバーの位置がずれている場合も点滅します。
アイリスレバーを動かして、カメラの調整値と一致した時点で消灯して通常の制御が可能になります。

赤点滅: (2 秒ごとの遅い点滅)
操作無効 (ロック) 中に、マスターペダスタルボリューム<M.PED>が動かされたことを示しています。
マスターペダスタルボリューム<M.PED>をロック時の位置に戻すと、消灯して通常の制御が可能になります。
制御対象のカメラを切り替えたときに、カメラの調整値とマスターペダスタルボリューム<M.PED>の位置がずれている場合も点滅します。
マスターペダスタルボリューム<M.PED>を動かして、カメラの調整値と一致した時点で消灯して通常の制御が可能になります。

44. アイリスレバー< IRIS (↑ ↓)>

アイリスのレベル調整器です。
 アイリス/マスターペダスタルロックが消灯時に有効です。
 オートアイリスでない場合は、アイリスのマニュアル(手動)調整ができます。
 オートアイリスの場合、オートアイリスレベル(絞りの自動調整の基準値)を調整します。
 レバー先端のボタンを押すと、プレビュー端子のプレビュー用信号が接続されます。

アイリス手動調整(<IRIS/M.PED LOCK>、<AUTO>、<FULL>の全てのボタンが消灯している状態)の場合

手前:	アイリスをセンスボリュームとレンジボリュームで設定した範囲でCLOSE方向に調整します
奥:	アイリスをセンスボリュームとレンジボリュームで設定した範囲でOPEN方向に調整します

アイリス自動調整の場合

手前:	オートアイリスレベルをCLOSE方向に調整します
奥:	オートアイリスレベルをOPEN方向に調整します

45. マスターペダスタルボリューム<M.PED>

マスターペダスタルのレベル調整器です。右回しでマスターペダスタルが上がります。
 マスターペダスタルボリューム<M.PED>を動かすと、調整値表示部に調整値が約2秒間表示されます。
 マスターペダスタルとR、G、Bペダスタル調整は独立しており、マスターペダスタルを回してもR、G、Bペダスタルの調整値は変わりません。
 M.GAIN/M.PED表示選択ボタン<M.GAIN/M.PED>を2回押すと、調整値表示部に調整値が表示されます。

46. プレビューボタン<PREVIEW>

プレビュー端子からプレビュー信号を出力します。(→34ページ)

ON(押す):	プレビュー出力ON
OFF:	プレビュー出力OFF

47. フェーダーフルボタン<FULL>

アイリスレバーの可変範囲をOPENからCLOSEまでの全域にします。再度フェーダーフルボタンを押すと消灯し、SENSEボリュームとCOARSEボリュームが使用可能になります。

点灯:	アイリスレバーの可変範囲がフル(OOPENからCLOSEまでの全域)
消灯:	アイリスレバーの可変範囲が、SENSEボリュームとCOARSEボリュームの設定に依存

48. オートアイリスボタン<AUTO>

オートアイリス機能を有効にします。
 アイリスレバーを手前に動かすとオートアイリスレベルをCLOSE方向に調整します。奥に動かすとOPEN方向に調整します。

点灯:	オートアイリスモードが有効
消灯:	アイリスレバーによるアイリスの手動(マニュアル)調整が有効

オートアイリスの各設定については、取扱説明書<操作設定編>(→6ページ「取扱説明書について」参照)の「ROPメニュー設定項目」を参照してください。

49. アイリスクローズボタン<CLOSE>

アイリスを強制的にCLOSEします。

点灯:	アイリスを強制的にCLOSEします
消灯:	アイリスCLOSEを解除します

50. センスボリューム<SENSE>

アイリスレバー中心から上端、下端に動かしたときのアイリス可変範囲を調整します。

ボリューム中央で約±1絞りです

右に回す:	可変範囲が広がります(アイリスレバーの感度が高くなります)
	ボリューム右端で約±2絞りです
左に回す:	可変範囲が狭まります(アイリスレバーの感度が低くなります)
	ボリューム左端で約±1/2絞りです

51. コースボリューム<COARSE>

アイリスレバーを中心にしたときのIRIS値を調整します。

右に回す(OPEN):	IRIS値が高くなります ボリューム右端で、ボリュームセンターに対し約+3絞りです
左に回す(CLOSE):	IRIS値が低くなります ボリューム左端で、ボリュームセンターに対し約-3絞りです

52. レンズエクステンダー表示<EXT>

レンズエクステンダーが1倍以外の設定にあることを警告します。

点灯:	レンズエクステンダーが1倍以外の設定です
消灯:	レンズエクステンダーを使用していないか、機能が無効です

53. デジタルエクステンダー表示<D.EXT>

デジタルエクステンダーが1倍以外の設定にあることを警告します。

点灯:	デジタルエクステンダーが1倍以外の設定です
消灯:	デジタルエクステンダーを使用していないか、機能が無効です

<NOTE>

スタジオハンディカメラAK-HC3800は2倍です。

54. メモリーカードスロット

メモリーカードを挿入します。本機の設定およびシーンファイルやユーザーファイルなどを、メモリーカードに保存することができます。
 本機で使用可能なメモリーカードについては、6ページをご参照ください。

<NOTE>

AK-HC3500Aのシーンファイル、ユーザーファイル、レンズファイルの保存はできません。

55. メモリーカードアクセス中表示

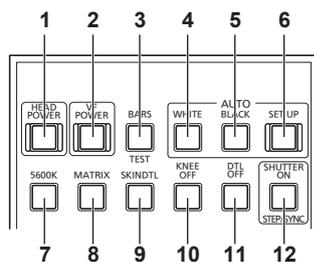
メモリーカードの読み出し中、書き込み中に点灯します。

各部の名前とはたらき (リモートカメラ操作時)

リモートカメラ (AW-HE50/ AW-HE60/ AW-HE120/ AW-HE870、AK-HC1500/ AK-HC1800) の操作について説明します。

操作面

各ボタンが押されたときに操作音 (ブザー) が鳴ります。ただし、セットアップモードで操作音がOFFに設定されている場合は鳴りません。



1. カメラ電源ボタン <HEAD POWER>

リモートカメラの電源をリモート制御します。ただし、カメラ自体の電源が入っていないければ本機能は動作しません。押すたびにカメラの電源ON/電源OFFを切り替えます。

点灯 (緑) :	カメラの電源がONの状態
点灯 (赤) :	カメラの電源がスタンバイの状態
短点滅 (赤) *1 :	IP接続でネットワークの認証ができていない状態
消灯 :	カメラ自体の電源が入っていない状態

*1 短点滅は、約0.5秒間隔の点滅です。

<NOTE>

AW-HE870、AK-HC1500/AK-HC1800では使用できません。

2. ビューファインダー電源ボタン <VF POWER>

リモートカメラでは使用できません。

3. カラーバー信号出力ボタン <BARS/TEST>

カメラからカラーバー信号が出力されます。

点灯 (黄) :	カラーバーON
点灯 (緑) :	TEST信号ON (AK-HC1500/AK-HC1800のみ)
消灯 :	カラーバーOFF

4. オートホワイトバランスボタン <WHITE>

自動ホワイトバランス調整を実行します。

点灯 :	自動ホワイトバランス調整の起動を受け付けたことを示します。
点滅 :	自動ホワイトバランス調整の終了後、ホワイトバランスが十分に取られていないことを警告しています。
消灯 :	自動ホワイトバランス調整が良好に終了したことを示します。

5. オートブラックバランスボタン <BLACK>

自動ブラックバランス調整を実行します。

点灯 :	自動ブラックバランス調整の起動を受け付けたことを示します。
点滅 :	自動ブラックバランス調整の終了後、ブラックバランスが十分に取られていないことを警告しています。
消灯 :	自動ブラックバランス調整が良好に終了したことを示します。

<NOTE>

AW-HE2では使用できません。

6. オートセットアップボタン <SETUP>

リモートカメラでは使用できません。

7. 5600 K ボタン <5600K>

5600 Kの色温度に対応したホワイトバランスになるように調整します。

点灯 :	ON
消灯 :	OFF

<NOTE>

AW-HE50/AW-HE60/AW-HE120/AW-HE870/AW-HE2では使用できません。

8. マトリクスボタン <MATRIX>

リモートカメラでは使用できません。

9. 肌色ディテールボタン <SKINDTL>

肌色部分のディテール強調にコアリングをかけて、肌色のディテールを緩和、強調します。

点灯 :	ON
消灯 :	OFF

<NOTE>

AW-HE50/AW-HE60/AW-HE120/AW-HE870/AW-HE2では使用できません。

10. ニーOFFボタン <KNEE OFF>

リモートカメラでは使用できません。

11. ディテールOFFボタン <DTL OFF>

映像出力の輪郭の強調 (硬軟) 機能 (ディテールエンハンサー) を無効にします。

点灯 :	ディテールエンハンサーOFF
消灯 :	ディテールエンハンサーON

<NOTE>

AW-HE50/AW-HE60/AW-HE120/AW-HE870/AW-HE2では使用できません。

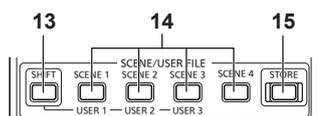
12. シャッターON/OFFボタン <SHUTTER ON> STEP/SYNC 選択ボタン <STEP/SYNC>

SHUTTERをON/OFFします。本ボタンを長押しすると、STEP/SYNCHROが切り替わります。SHUTTER ON時にSHUTTER表示選択ボタン <SHUTTER> およびSHUTTER表示部 <SHT> が点灯し、調整値表示部に設定が約2秒間表示されます。

点灯 :	SHUTTER ON (STEP/SYNCHRO を選択できます)
消灯 :	SHUTTER OFF (STEP/SYNCHRO を選択できます)

<NOTE>

- SYNCHRO 時の調整値は調整値表示部に表示されません。また、調整操作もできません。
- AW-HE50/AW-HE60/AW-HE120では、シャッターをOFFにすると、次回ONにしたときにシャッタースピードが1/100もしくは1/120になります。
- AW-HE2では使用できません。



13. シーン/ユーザーファイル切り替えボタン<SHIFT>

リモートカメラでは使用できません。

<NOTE>

データセットボタン(上)<UP>とデータセットボタン(下)

<DOWN>およびシーン/ユーザーファイル切り替えボタン

<SHIFT>を約2秒間同時に押すと、セットアップモードに移行します。

セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

14. シーン/ユーザーファイル選択ボタン

<SCENE1/USER1> ~ <SCENE3/USER3>・

<SCENE4>

シーンファイルを切り替えます。

点灯： ボタンに対応するシーンファイルが選択されています。

消灯： ボタンに対応するシーンファイルが選択されていません。

撮影モードの名称や各モードの動作は、リモートカメラの機種によって異なります。詳しくは、リモートカメラの取扱説明書を参照してください。

本機のシーン/ユーザーファイル選択ボタン<SCENE1/USER1> ~ <SCENE3/USER3>・<SCENE4>と、リモートカメラの各撮影モードとの関係は、以下のようになります。

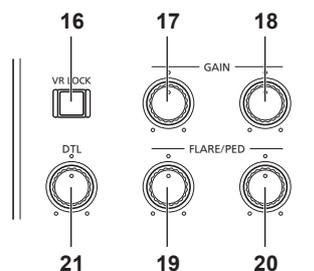
本機のボタン	リモートカメラの撮影モード			
	AW-HE60 AW-HE50	AE-HE120	AW-HE870	AK-HC1500 AK-HC1800
SCENE1/ USER1	Manual1	Scene1	Halogen	USER1
SCENE2/ USER2	Manual2	Scene2	Fluorescent	USER2
SCENE3/ USER3	Manual3	Scene3	Outdoor	PRESET
SCENE4	FullAuto	Scene4	User	—

<NOTE>

- ・リモートカメラではユーザーファイルは使用できません。
- ・AW-HE2では使用できません。

15. シーン/ユーザーファイル登録ボタン<STORE>

リモートカメラでは使用できません。



16. ボリュームロックボタン<VR LOCK>

ペイントボリュームの操作をロック(無効)にします。対象のペイントボリュームはGAIN(R,B)、PED/FLARE(R,B)、DTLです。

押すたびにON/OFFを切り替えます。

点灯： ON(ペイントボリューム値をロックします)

消灯： OFF(ペイントボリューム値が変化します)

● ボリュームロックボタン<VR LOCK>の使い方

1)各項目をボリューム(17~21)で調整する

2)<VR LOCK>を押す

ボタンが点灯します。

本機はこの時点のペイントボリューム値を記憶しています。

3)ボリュームをまわして中央にセットする

4)もう一度<VR LOCK>を押す

ボタンが消灯してボリュームロックが解除されます。

この時点のボリュームの位置が、手順2で記憶したペイントボリューム値にセットされます。

17. Rゲインボリューム<GAIN R>

ホワイトバランスの赤(R)の調整用ボリュームです。

ボリュームロック(VR LOCK)の対象です。

<NOTE>

アップグレードキットAW-HEF5HG/AW-HEF5SGを導入していないAW-HE50およびAW-HE2では使用できません。

18. Bゲインボリューム<GAIN B>

ホワイトバランスの青(B)の調整用ボリュームです。

ボリュームロック(VR LOCK)の対象です。

<NOTE>

アップグレードキットAW-HEF5HG/AW-HEF5SGを導入していないAW-HE50およびAW-HE2では使用できません。

19. Rフレア/ペダスタルボリューム<FLARE/PED R>

ペダスタルもしくはフレアの赤(R)の調整用ボリュームです。ペダスタルとフレアのどちらを対象とするかは本機のセットアップモードで決めます。

ボリュームロック(VR LOCK)の対象です。

<NOTE>

AW-HE50/AW-HE60/AW-HE2では使用できません。

AW-HE120/AW-HE870ではペダスタル固定です。

20. Bフレア/ペダスタルボリューム<FLARE/PED B>

ペダスタルもしくはフレアの青(B)の調整用ボリュームです。ペダスタルとフレアのどちらを対象とするかは本機のセットアップモードで決めます。

ボリュームロック(VR LOCK)の対象です。

<NOTE>

AW-HE50/AW-HE60/AW-HE2では使用できません。

AW-HE120/AW-HE870ではペダスタル固定です。

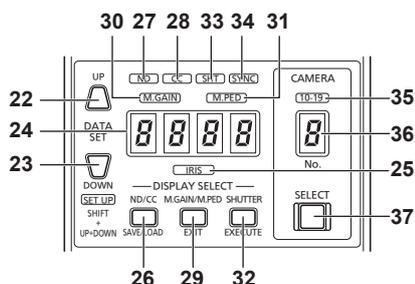
21. DTLボリューム<DTL>

ディテールエンハンサーの効果の加減調整用ボリュームです。

ボリュームロック(VR LOCK)の対象です。

<NOTE>

AW-HE50/AW-HE60/AW-HE120/AW-HE870/AW-HE2では使用できません。



22. データセットボタン(上) <UP>

NDフィルター、M.GAIN、SHUTTER表示時に、設定値増加方向に選択操作できます。押すたびに選択値が増加します。
また、ZOOM/FOCUS/AUTO FOCUS設定モード時にも、操作ボタンとして使用します。

点灯： 操作可能です
消灯： 操作できません

<NOTE>

- AW-HE50/AW-HE60/AW-HE870/AW-HE2ではNDフィルターは使用できません。
- AW-HE2では、FOCUS、AUTO FOCUSは使用できません。
- データセットボタン(上) <UP> とデータセットボタン(下) <DOWN> およびシーン/ユーザーファイル切り替えボタン <SHIFT> を約2秒間同時に押すと、セットアップモードに移行します。
セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

23. データセットボタン(下) <DOWN>

NDフィルター、M.GAIN、SHUTTER表示時に、設定値減少方向に選択操作できます。押すたびに選択値が減少します。
また、ZOOM/FOCUS/AUTO FOCUS設定モード時にも、操作ボタンとして使用します。

点灯： 操作可能です
消灯： 操作できません

<NOTE>

- AW-HE50/AW-HE60/AW-HE870/AW-HE2ではNDフィルターは使用できません。
- AW-HE2では、FOCUS、AUTO FOCUSは使用できません。
- データセットボタン(上) <UP> とデータセットボタン(下) <DOWN> およびシーン/ユーザーファイル切り替えボタン <SHIFT> を約2秒間同時に押すと、セットアップモードに移行します。
セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

24. 調整値表示部(4桁)

調整値を表示します。
電源ON時はIRIS値を表示します。表示選択ボタンのいずれかを押すと選択した調整値の表示に切り替わります。各調整値の範囲を示します。

項目	表示	AW-HE50 AW-HE60	AW-HE120	AW-HE870
IRIS	—	調整値は表示しません		
ND	■ _ _ _	—	1~4*7	—
CC	—	—		
M.GAIN	■ ■ dB	*1	*2	*3
M.PED	■ ■ ■ ■	-10~10	-150~150	-150~150
SHUTTER	■ ■ ■ ■	*4		
ZOOM	Zo	調整値は表示しません		
FOCUS	Fo	調整値は表示しません		
AUTO FOCUS	AF	ON(AF. on) OFF(AF. of)		—

項目	表示	AK-HC1500 AK-HC1800
IRIS	_ ■ ■ ■	1.4~22
ND	■ _ _ _	1~4
CC	—	—
M.GAIN	■ _ _ _	1~6*5
M.PED	■ ■ ■ ■	-150~150
SHUTTER	■ ■ ■ ■	*6
ZOOM	Zo	調整値は表示しません
FOCUS	Fo	調整値は表示しません
AUTO FOCUS	AF	—

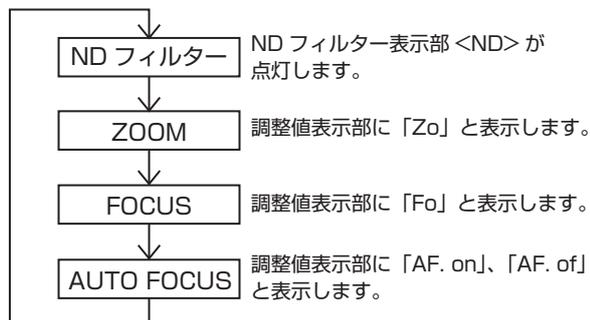
- *1 Auto、0、3、6、9、12、15、18
- *2 Auto、0~18
- *3 Auto、-6~18
- *4 59.94 Hz: 1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000(1/9999で表示)
50Hz: 1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000(1/9999で表示)
- SYNCHRO時は表示されません。また、調整もできません。
- AW-HE50/AW-HE60の場合は、オートアイリス中のシャッター調整の操作が可能ですが、映像には反映されません。オートアイリス解除後に反映されます。
- *5 1: LOW、2: MID、3: HIGH、4: S.GAIN1、5: S.GAIN2、6: S.GAIN3
- *6 VIDEO: 1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000
FILM: 180.0、172.8、144.0、120.0、90.0、45.0
- *7 「1→4」への切り替え時には、「1→2→3→4」と順に切り替わります。

25. IRIS表示部 <IRIS>

調整値表示部にIRIS値を表示しているときに緑点灯します。
電源ON時はIRIS値を表示します。
また、調整値表示部にIRIS以外を表示している場合に、アイリスレバーを操作したとき約2秒間IRIS値を表示します。

26. NDフィルター/CCフィルター表示選択ボタン<ND/CC> SAVE/LOADボタン<SAVE/LOAD> (セットアップモード時)

NDフィルターの調整値を表示、変更するとき、ZOOM、FOCUSを調整するとき、AUTO FOCUSを設定するときを押します。押すたびに、変更対象が切り替わります。



点灯 (黄) :	NDフィルター調整値を表示中、変更可能です。 ZOOM/FOCUSを調整可能です。 AUTO FOCUSを設定可能です。
消灯 :	NDフィルター/ZOOM/FOCUS/AUTO FOCUS以外を表示中です。

<NOTE>

- AW-HE50/AW-HE60/AW-HE870/AW-HE2ではNDフィルターは使用できません。
- AW-HE2では、FOCUS、AUTO FOCUSは使用できません。
- ZOOM/FOCUSの調整速度は、センスボリュームで調整できます。

● NDフィルター/ZOOM/FOCUS/AUTO FOCUSの表示、設定のしかた

- 1) IRIS表示状態もしくは他の表示選択状態 (M.GAIN/M.PED、SHUTTER) で<ND/CC>を押す
ボタンが点灯するとともにNDフィルター表示部<ND>が緑色に点灯します。
- 2) 点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>を押す
NDフィルター調整値を変更できます。
- 3) 再度、<ND/CC>を押す
NDフィルター表示部<ND>が消灯、調整値表示部に「Zo」が表示されます。点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>を長押しするとZOOMを調整できます。ZOOMの調整速度をセンスボリュームで調整できます。ZOOM選択中は、選択ダイヤル<SELECT>でFOCUSの調整、および選択ダイヤル<SELECT>を押して、ワンショットフォーカスの調整が可能です。
- 4) 再度、<ND/CC>を押す
調整値表示部に「Fo」が表示されます。点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>を長押しするとFOCUSを調整できます。FOCUSの調整速度をセンスボリュームで調整できます。FOCUS選択中は、選択ダイヤル<SELECT>で、ZOOMの調整が可能です。
- 5) 再度、<ND/CC>を押す
調整値表示部に調整値表示部に「AF.on」もしくは「AF.of」が表示されます。点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>で選択できます。
- 6) 再度、<ND/CC>を押す
調整値表示部がIRIS表示状態になります。

セットアップモード時は、サブメニューの切り替えを行います。セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

27. NDフィルター表示部<ND>

調整値表示部にNDフィルター調整値を表示しているときに緑点灯します。

<NOTE>

AW-HE50/AW-HE60/AW-HE870/AW-HE2ではNDフィルターは使用できません。

28. CCフィルター表示部<CC>

リモートカメラでは使用できません。

29. M.GAIN/M.PED表示選択ボタン<M.GAIN/M.PED> EXITボタン<EXIT> (セットアップモード時)

M.GAINおよびM.PEDの調整値を表示、変更するときを押します。M.PEDは表示のみで、調整はデータセットボタン<UP><DOWN>ではできません。アイリスレバーのマスターペダスタルボリューム<M.PED>で調整します。

● M.GAIN/M.PED表示、設定のしかた

- 1) IRIS表示状態もしくは他の表示選択状態 (ND/CC、SHUTTER) で<M.GAIN/M.PED>を押す
ボタンが点灯するとともにM.GAIN表示部<M.GAIN>が緑点灯します。
- 2) 点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>を押す
M.GAIN調整値を変更できます。
- 3) 再度、<M.GAIN/M.PED>を押す
M.GAIN表示部<M.GAIN>が消灯し、M.PED表示部<M.PED>が緑点灯します。
- 4) 再度、<M.GAIN/M.PED>を押す
ボタンが消灯するとともにM.PED表示部<M.PED>が消灯します。
このとき調整値表示部はIRIS表示に戻ります。

<NOTE>

- M.PEDの調整は、マスターペダスタルボリュームで行います。(表示状態にかかわらず常時有効です)
- 他の表示選択ボタン (<ND/CC>、<SHUTTER>) を押すときのボタンは消灯して選択した表示になります。
- AW-HE2では使用できません。

セットアップモード時に約2秒間押し、セットアップモードを終了します。

セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

30. M.GAIN表示部<M.GAIN>

調整値表示部にM.GAIN調整値を表示しているときに緑点灯します。M.GAINが調整対象に選択されているときは、M.GAINの調整値表示部が点灯します。

<NOTE>

AW-HE2では使用できません。

31. M.PED表示部<M.PED>

調整値表示部にM.PED調整値を表示しているときに緑点灯します。調整値表示部にM.PED以外を表示している場合に、マスターペダスタルボリューム<M.PED>を操作したとき約2秒間M.PED調整値を表示します。

<NOTE>

- M.PEDの調整は、マスターペダスタルボリューム<M.PED>で行います。(表示状態にかかわらず常時有効です)
- AW-HE2では使用できません。

32. SHUTTER表示選択ボタン<SHUTTER>

EXECUTEボタン<EXECUTE>(セットアップモード時)

SHUTTERの調整値を表示、変更するときに押します。

<NOTE>

シャッターON/OFFボタン<SHUTTER ON>がOFFの状態でも、SHUTTER表示選択ボタン<SHUTTER>は操作可能で、SHUTTER調整も可能です。(運用前調整ができます)

● SHUTTERの表示、設定のしかた

STEP/SYNC選択ボタン<STEP/SYNC>を約2秒間押すと、調整値をSTEPとSYNCで切り替えることができます。SYNCHRO選択時はSYNCHRO表示部が緑に点灯します。

1) IRIS表示状態もしくは他の表示選択状態(NDフィルター/CCフィルター、M.GAIN/M.PED)で<SHUTTER>を押す

STEP選択時は、調整値表示部にSHUTTER調整値が表示されます。(SYNC選択時は表示されません)

2)点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>を押す

SHUTTER調整値を変更できます。(SYNC選択時は変更できません)

3)再度<SHUTTER>を押す

ボタンが消灯するとともにSHUTTER表示部<SHT>が消灯します。

このとき調整値表示部はIRIS表示に戻ります。

他の表示選択ボタン(<ND/CC>、<M.GAIN/M.PED>)を押すとこのボタンは消灯して選択した表示になります。

<NOTE>

AW-HE2では使用できません。

セットアップモード時は、メニューや設定値を確定します。

セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

33. SHUTTER表示部<SHT>

調整値表示部にSHUTTER調整値を表示しているときに、緑点灯します。

<NOTE>

- STEP/SYNC選択ボタン<STEP/SYNC>を約2秒間押すと、調整値をSTEPとSYNCで切り替えることができます。SYNCHRO選択時はSYNCHRO表示部<SYNC>が緑点灯します。
- AW-HE2では使用できません。

34. SYNCHRO表示部<SYNC>

調整値表示部にSHUTTER(SYNC)調整値を表示しているときに緑点灯します。STEP表示時は消灯します。

消灯： SHUTTERがSTEPモードのとき

点灯： SHUTTERがSYNCHROモードのとき

<NOTE>

- STEP/SYNC選択ボタンを約2秒間押すと、調整値をSTEPとSYNCHROで切り替えることができます。
- AW-HE2では使用できません。

35. カメラナンバー10位表示部<10-19>

カメラナンバーが10~19のときに点灯します。

消灯： カメラナンバーが1~9

点灯： カメラナンバーが10~19

点滅： ナンバーが20~22(セットアップモード時のみ)

36. カメラナンバー表示部<No.>

カメラナンバーおよびセットアップモード時のメニュー番号を表示します。ナンバーが10~19、20~22の場合は1の位の数値を表示します。10の位はカメラナンバー10位表示部で表示します。(カメラナンバー10位表示部が10~19の場合は点灯、20~22の場合は点滅します。)

37. カメラ選択ボタン<SELECT>

制御対象のカメラを選択するときに使用します。

● 制御対象のカメラ選択のしかた

本機に接続されているカメラを選択して制御することができます。

1)カメラ選択ボタン<SELECT>を約2秒間長押しする

カメラナンバー表示部のカメラ番号が点滅します。

2)点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>を押す

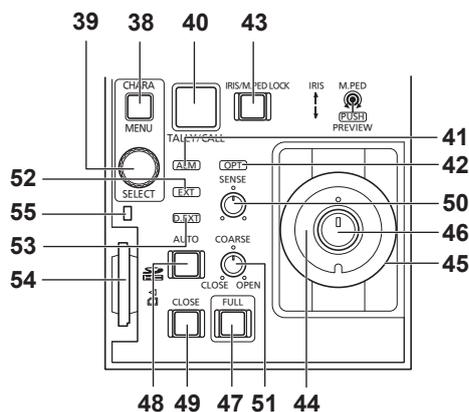
点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>を押し、カメラ番号を選択します。

3)カメラ選択ボタン<SELECT>を押す

選択したカメラの制御が可能になります。

<NOTE>

カメラ選択ボタンを押してカメラを選択したときに、カメラ選択ボタンが点滅し続ける場合は、通信が確立できていません。カメラ番号に割り当てられているカメラの設定を確認してください。



38. キャラクター/メニューボタン<CHARA/MENU>

長押し (約2秒) でカメラメニューのON/OFFを切り替えます。

長押し (点灯) : カメラメニューをON (表示) します。

長押し (消灯) : カメラメニューをOFFします。

39. 選択ダイヤル<SELECT>

カメラメニューを表示しているときに、メニュー操作を行います。カメラメニューについては、カメラの取扱説明書を参照してください。

右に回す : 選択値の増加、メニューの下方向選択

左に回す : 選択値の減少、メニューの上方向選択

押す : 選択値の確定、メニューの選択確定

<NOTE>

メニュー非表示で、ZOOM/FOCUS設定モード時には、FOCUS/ZOOMの調整操作ダイヤルとなります。(→23ページ)

40. レッド/グリーンタリー表示部、コールボタン

<TALLY/CALL>

本機のプレビュー端子<PREVIEW>に接続されているタリー信号がONのときに赤点灯します。

リモートカメラ操作時は、コールボタンは使用できません。

点灯 (赤) : 操作中のカメラのタリーがON状態です。

消灯 : 操作中のカメラのタリーがOFF状態です。

41. アラーム表示部<ALM>

警告表示灯です。

異常の場合は、販売店にご相談ください。

点灯 : リモートカメラからアラーム (冷却ファンのアラーム) を受信しています。

点滅 : 本機の電源電圧が低下していることを示します。

消灯 : 正常動作状態

42. 光アラーム表示部<OPT>

リモートカメラでは無効です。

43. アイリス/マスターペダスタルロックボタン

<IRIS/M.PED LOCK>

アイリス、M.PEDを操作無効 (ロック) にします。

このとき赤に点灯します。もう一度ボタンを押すとロックが解除されます。

消灯 : アイリス、M.PEDが制御できます。

赤点灯 : 操作無効 (ロック) 状態です。

操作無効 (ロック) 中に、アイリスレバーが動かされたことを示しています。

赤点滅 : アイリスレバーをロック時の位置に戻すと、消灯して通常の制御が可能になります。

(1秒ごとの早い点滅) 制御対象のカメラを切り替えたときに、カメラの調整値とアイリスレバーの位置がずれている場合も点滅します。アイリスレバーを動かして、カメラの調整値と一致した時点で消灯して通常の制御が可能になります。

操作無効 (ロック) 中に、マスターペダスタルボリューム<M.PED>が動かされたことを示しています。

赤点滅 : マスターペダスタルボリューム<M.PED>をロック時の位置に戻すと、消灯して通常の制御が可能になります。

(2秒ごとの遅い点滅) 制御対象のカメラを切り替えたときに、カメラの調整値とマスターペダスタルボリューム<M.PED>の位置がずれている場合も点滅します。マスターペダスタルボリューム<M.PED>を動かして、カメラの調整値と一致した時点で消灯して通常の制御が可能になります。

44. アイリスレバー<IRIS (↑ ↓)>

アイリスのレベル調整器です。

アイリス/マスターペダスタルロックが消灯時に有効です。

オートアイリスでない場合は、アイリスのマニュアル (手動) 調整ができます。

アイリス手動調整 (<IRIS/M.PED LOCK>、<AUTO>の全てのボタンが消灯している状態) の場合

手前 : アイリスをCLOSE方向に調整します

奥 : アイリスをOPEN方向に調整します

オートアイリスモードが有効なとき (オートアイリスボタン

<AUTO>点灯時) は、リモートカメラのオートアイリスの収束レベルを調整します。

45. マスターペダスタルボリューム<M.PED>

マスターペダスタルのレベル調整器です。右回しでマスターペダスタルが上がります。

マスターペダスタルボリューム<M.PED>を動かすと、調整値表示部に調整値が約2秒間表示されます。

マスターペダスタルとR、G、Bペダスタル調整は独立しており、マスターペダスタルを回してもR、G、Bペダスタルの調整値は変わりません。

M.GAIN/M.PED表示選択ボタン<M.GAIN/M.PED>を2回押すと、調整値表示部に調整値が表示されます。

<NOTE>

AW-HE2では使用できません。

46. プレビューボタン<PREVIEW>

プレビュー端子からプレビュー信号を出力します。(→34ページ)

ON(押す): プレビュー出力ON

OFF: プレビュー出力OFF

47. フェーダーフルボタン<FULL>

リモートカメラでは常時ON(点灯)状態です。

アイリスレバーの可変範囲はOPENからCLOSEまでの全域です。

48. オートアイリスボタン<AUTO>

オートアイリス機能を有効にします。

点灯: オートアイリスモードが有効

消灯: アイリスレバーによるアイリスの手動(マニュアル)調整が有効

49. アイリスクローズボタン<CLOSE>

リモートカメラでは使用できません。

50. センスボリューム<SENSE>

ZOOM/FOCUSの速度を調整できます。

右に回す: 速度が速くなります

左に回す: 速度が遅くなります

51. コースボリューム<COARSE>

リモートカメラでは無効です。

52. レンズエクステンダー表示<EXT>

リモートカメラでは無効です。

53. デジタルエクステンダー表示<D.EXT>

リモートカメラでは無効です。

54. メモリーカードスロット

メモリーカードを挿入します。

本機の設定およびリモートカメラ(IP接続時)の設定などをメモリーカードに保存することができます。

本機で使用可能なメモリーカードについては、6ページを参照ください。

55. メモリーカードアクセス中表示

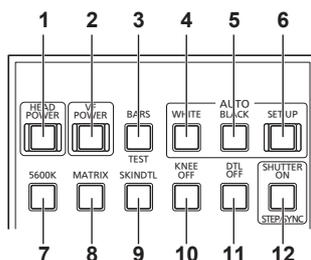
メモリーカードの読み出し中、書き込み中に点灯します。

各部の名前とはたらき(カメラレコーダー操作時)

カメラレコーダー(AJ-PX***シリーズ)の操作について説明します。

操作面

各ボタンが押されたときに操作音(ブザー)が鳴ります。ただし、セットアップモードで操作音がOFFに設定されている場合は鳴りません。



1. カメラ電源ボタン<HEAD POWER>

カメラレコーダーの電源状態およびIP接続/シリアル接続の状態を表示します。

カメラレコーダーの電源ON/OFFの操作はできません。

点灯(緑):	カメラの電源がONの状態
点滅(緑):	ネットワーク/シリアルの接続を遮断している状態
短点滅(赤)*1:	IP接続でネットワークの認証ができていない状態
消灯:	カメラの電源がOFFの状態

*1 短点滅は、約0.5秒間隔の点滅です。

<NOTE>

- ネットワーク/シリアルに接続されている状態で電源ボタンを押すことで、接続を遮断することができます。このとき、電源ボタンは点滅(緑)します。
- 短点滅(赤)の場合は、ネットワークの認証エラーです。再度、ROPセットアップソフトウェアの「User Auth.」タブにあるUser NameおよびPasswordを確認してください。

2. ビューファインダー電源ボタン<VF POWER>

<TALLY/CALL>との同時長押しで、カメラレコーダーに対して、Rタリー信号をON/OFFします。押すたびにON/OFFが切り替わります。

3. カラーバー信号出力ボタン<BARS/TEST>

カメラからカラーバー信号およびTEST信号が出力されます。

点灯(緑):	TEST信号ON *1
消灯:	カラーバーOFF
点灯(黄):	カラーバーON

*1 未対応の機種もあります

4. オートホワイトバランスボタン<WHITE>

自動ホワイトバランス調整を実行します。

点灯:	自動ホワイトバランス調整の起動を受け付けたことを示します。
点滅:	自動ホワイトバランス調整の終了後、ホワイトバランスが十分に取れていないことを警告しています。
消灯:	自動ホワイトバランス調整が良好に終了したことを示します。

5. オートブラックバランスボタン<BLACK>

自動ブラックバランス調整を実行します。

点灯:	自動ブラックバランス調整の起動を受け付けたことを示します。
点滅:	自動ブラックバランス調整の終了後、ブラックバランスが十分に取れていないことを警告しています。
消灯:	自動ブラックバランス調整が良好に終了したことを示します。

6. オートセットアップボタン<SETUP>

ボタンの長押しで、カメラレコーダーに対して、Gタリー信号をON/OFFします。押すたびにON/OFFが切り替わります。

7. 5600 Kボタン<5600K>

カメラレコーダーでは使用できません。

8. マトリクスボタン<MATRIX>

マトリクスメモリの各色成分のゲイン調整値にもとづいて、彩度と色相を補正する機能を有効にします。押すたびにON/OFFが切り替わります。

点灯:	ON
消灯:	OFF

<NOTE>

電源ON後の初期状態は、カメラレコーダーの設定に従います。

9. 肌色ディテールボタン<SKINDTL>

肌色部分のディテール強調にコアリングをかけて、肌色のディテールを緩和、強調します。

点灯:	ON
消灯:	OFF

<NOTE>

電源ON後の初期状態は、カメラレコーダーの設定に従います。

10. ニーOFFボタン<KNEE OFF>

映像信号のあるレベル(ニーポイント)を越えた部分については減衰をかけて飽和しにくくする機能(ニー機能)を無効にします。

点灯:	ニー機能無効(ニーOFF)
消灯:	ニー機能有効

11. ディテールOFFボタン<DTL OFF>

映像出力の輪郭の強調(硬軟)機能(ディテールエンハンサー)を無効にします。

点灯:	ディテールエンハンサーOFF
消灯:	ディテールエンハンサーON

12. シャッターON/OFFボタン<SHUTTER ON>

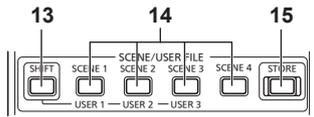
STEP/SYNC 選択ボタン<STEP/SYNC>

SHUTTERをON/OFFします。本ボタンを長押しすると、STEP/SYNCHROが切り替わります。SHUTTER ON時にSHUTTER表示選択ボタン<SHUTTER>およびSHUTTER表示部<SHT>が点灯し、調整値表示部に設定が約2秒間表示されます。

点灯:	SHUTTER ON (STEP/SYNCHROを選択できます)
消灯:	SHUTTER OFF (STEP/SYNCHROを選択できます)

<NOTE>

- SYNCHRO時にシャッタースピード設定を、秒(sec)で表示させるか、開角度(deg)で表示させるかは、セットアップモード22番のシンクロシャッター表示設定メニューで選択します。
- SHUTTER OFF時は、STEP/SYNCHROの切り替えはできません。



13. シーン/ユーザーファイル切り替えボタン<SHIFT>

カメラレコーダーでは、シーンファイルボタンは使用できません。ユーザーファイルを選択するには、シーン/ユーザーファイル切り替えボタンと同時にシーン/ユーザーファイル選択ボタン1~3<SCENE1/USER1>~<SCENE3/USER3>を押すと、ユーザーファイル1~3を選択できます。

<NOTE>

ただし、カメラレコーダーではユーザーファイル操作でシーンファイルは操作できません。ユーザーファイル操作が、未対応の機種もありますので、詳細は、カメラレコーダー本体の取扱説明書を参照ください。

シーンファイル	使用できません
ユーザーファイル	ユーザーファイル操作でカメラレコーダーのシーンファイルは操作します。カメラレコーダーのシーンファイルについての詳細は、接続するカメラレコーダーの取扱説明書を参照してください。

<NOTE>

データセットボタン(上)<UP>とデータセットボタン(下)<DOWN>およびシーン/ユーザーファイル切り替えボタン<SHIFT>を約2秒間同時に押すと、セットアップモードに移行します。セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

14. シーン/ユーザーファイル選択ボタン

<SCENE1/USER1>~<SCENE3/USER3>・<SCENE4>

あらかじめ保存されたユーザーファイル(1~3)を必要に応じて呼び出すことができます。

点灯:	ユーザーファイル選択時、約1秒間点灯
消灯:	常時

<NOTE>

カメラレコーダーでは、ROPのユーザーファイルの操作で、カメラレコーダーのシーンファイルは操作します。ただし、3ファイル以上あっても、使用できるのは1~3の3ファイルになります。ユーザーファイル操作が、未対応の機種もありますので、詳細は、カメラレコーダー本体の取扱説明書を参照ください。

● ユーザーファイルの呼び出しかた

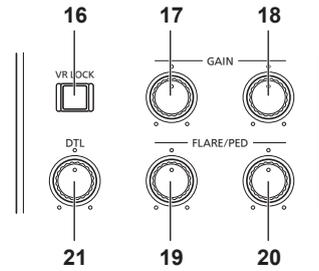
<SHIFT>を押しながら呼び出したいユーザーファイルに対応する番号1~3のシーン/ユーザーファイル選択ボタン<SCENE1/USER1>~<SCENE3/USER3>を押す。押されたボタンが点灯し、約1秒後にユーザーファイルが呼び出され、約1秒後にそのボタンが消灯します。

15. シーン/ユーザーファイル登録ボタン<STORE>

カメラレコーダーでは使用できません。

<NOTE>

カメラレコーダー操作時は、あらかじめ保存されたシーンファイル1~3の呼び出し操作のみ実行できます。登録は、ROPを接続しない状態で、カメラレコーダー側で実施してください。



16. ボリュームロックボタン<VR LOCK>

ペイントボリュームの操作をロック(無効)にします。対象のペイントボリュームはGAIN(R,B)、PED/FLARE(R,B)、DTLです。押すたびにON/OFFを切り替えます。

点灯:	ON(ペイントボリューム値をロックします)
消灯:	OFF(ペイントボリューム値が変化します)

● ボリュームロックボタン<VR LOCK>の使い方

1)各項目をボリューム(17~21)で調整する

2)<VR LOCK>を押す

ボタンが点灯します。

本機はこの時点のペイントボリューム値を記憶しています。

3)ボリュームをまわして中央にセットする

4)もう一度<VR LOCK>を押す

ボタンが消灯してボリュームロックが解除されます。

この時点のボリュームの位置が、手順2で記憶したペイントボリューム値にセットされます。

17.Rゲインボリューム<GAIN R>

ホワイトバランスの赤(R)の調整用ボリュームです。ボリュームロック(VR LOCK)の対象です。

18.Bゲインボリューム<GAIN B>

ホワイトバランスの青(B)の調整用ボリュームです。ボリュームロック(VR LOCK)の対象です。

19.Rフレア/ペダスタルボリューム<FLARE/PED R>

ペダスタルもしくはフレアの赤(R)の調整用ボリュームです。ペダスタルとフレアのどちらを対象とするかは本機のセットアップモードで決めます。

ボリュームロック(VR LOCK)の対象です。

<NOTE>

フレア動作未対応の機種もあります。

20.Bフレア/ペダスタルボリューム<FLARE/PED B>

ペダスタルもしくはフレアの青(B)の調整用ボリュームです。ペダスタルとフレアのどちらを対象とするかは本機のセットアップモードで決めます。

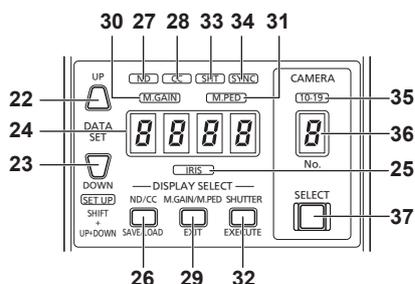
ボリュームロック(VR LOCK)の対象です。

<NOTE>

フレア動作未対応の機種もあります。

21.DTLボリューム<DTL>

ディテールエンハンサーの効果の加減調整用ボリュームです。ボリュームロック(VR LOCK)の対象です。



22. データセットボタン(上) <UP>

ND/CCフィルター、M.GAIN、SHUTTER、VFR表示時に、設定値増加方向に選択操作できます。押すたびに選択値が増加します。また、ZOOM/FOCUS/AUTO FOCUS設定モード時にも、操作ボタンとして使用します。

点灯:	操作可能です
消灯:	操作できません

<NOTE>

データセットボタン(上) <UP>とデータセットボタン(下) <DOWN>およびシーン/ユーザーファイル切り替えボタン <SHIFT>を約2秒間同時に押すと、セットアップモードに移行します。
NDフィルター、CCフィルター、ZOOM、FOCUS、AUTO FOCUS、VFRは、未対応の機種もあります。
セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

23. データセットボタン(下) <DOWN>

ND/CCフィルター、M.GAIN、SHUTTER、VFR表示時に、設定値減少方向に選択操作できます。押すたびに選択値が減少します。また、ZOOM/FOCUS/AUTO FOCUS設定モード時にも、操作ボタンとして使用します。

点灯:	操作可能です
消灯:	操作できません

<NOTE>

データセットボタン(上) <UP>とデータセットボタン(下) <DOWN>およびシーン/ユーザーファイル切り替えボタン <SHIFT>を約2秒間同時に押すと、セットアップモードに移行します。
NDフィルター、CCフィルター、ZOOM、FOCUS、AUTO FOCUS、VFRは、未対応の機種もあります。
セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

24. 調整値表示部(4桁)

調整値を表示します。
電源ON時はIRIS値を表示します。表示選択ボタンのいずれかを押すと選択した調整値の表示に切り替わります。各項目の表示状態とスタンダードポジションを示します。

項目	表示	スタンダードポジション
ND	■ _ _ _	1*1
CC	_ ■ _ _	A*1
M.GAIN	■ ■ dB	0 dB*1 ISO選択時は「iSo」と表示します
M.PED	■ ■ ■ ■	16*1
IRIS	_ ■ ■ ■	----
SHUTTER	■ ■ ■ ■	----
ZOOM	Zo	調整値は表示しません
FOCUS	Fo	調整値は表示しません
AUTO FOCUS	AF	ON(AF. on) OFF(AF. of)
VFR	■ ■ ■ P	VFR OFF時は「FroF」と表示します

*1 各項目調整時にスタンダード位置になると各項目の表示部が緑点灯します。
また、スタンダード位置と異なる場合は、黄点灯します。

<NOTE>

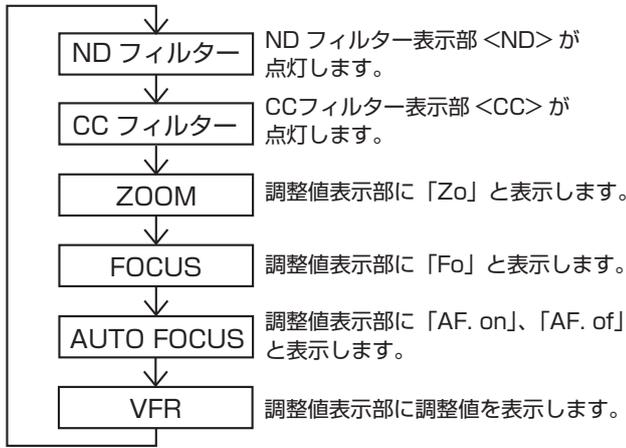
NDフィルター、CCフィルター、ZOOM、FOCUS、AUTO FOCUS、VFRは、未対応の機種もあります。

25. IRIS表示部 <IRIS>

調整値表示部にIRIS値を表示しているときに緑点灯します。
電源ON時はIRIS値を表示します。
また、調整値表示部にIRIS以外を表示している場合に、アイリスレバーを操作したとき約2秒間IRIS値を表示します。

**26. NDフィルター/CCフィルター表示選択ボタン<ND/CC>
SAVE/LOADボタン<SAVE/LOAD>(セットアップモード時)**

NDフィルター、CCフィルターの調整値を表示するとき、または、ZOOM、FOCUSを調整するとき、AUTO FOCUSを設定するとき、VFRを調整するときを押します。
押すたびに、変更対象が切り替わります。



	NDフィルター/CCフィルター調整値を表示中です。
点灯(黄) :	ZOOM/FOCUS/VFRを調整可能です。 AUTO FOCUSを設定可能です。
消灯 :	NDフィルター/CCフィルター/ZOOM/FOCUS/AUTO FOCUS/VFR以外を表示中です。

<NOTE>
 ・NDフィルター、CCフィルター、ZOOM、FOCUS、AUTO FOCUS、VFRは、未対応の機種もあります。
 ・ZOOM/FOCUSの調整速度は、センスボリュームで調整できます。

- NDフィルター/CCフィルター/ZOOM/FOCUS/AUTO FOCUS/VFRの表示、設定のしかた
 - 1) IRIS表示状態もしくは他の表示選択状態 (M.GAIN/M.PED、SHUTTER) で<ND/CC>を押す
 <ND/CC> ボタンが点灯するとともに NDフィルター表示部<ND> が点灯し、フィルター位置を表示します。
 - 2)再度、<ND/CC> を押す
 同様にCCフィルター表示部<CC>が点灯し、フィルター位置を表示します。
 <NOTE>
 未対応の機種は、「-」と表示されます。
 - 3)再度、<ND/CC> を押す
 NDフィルター表示部<ND>が消灯、調整値表示部に「Zo」が表示されます。点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>を長押しするとZOOMを調整できます。ZOOMの調整速度をセンスボリュームで調整できます。ZOOM選択中は、選択ダイヤル<SELECT>で、FOCUSの調整が可能です。
 - 4)再度、<ND/CC> を押す
 調整値表示部に「Fo」が表示されます。点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>を長押しするとFOCUSを調整できます。FOCUSの調整速度をセンスボリュームで調整できます。FOCUS選択中は、選択ダイヤル<SELECT>で、ZOOMの調整が可能です。
 - 5)再度、<ND/CC> を押す
 調整値表示部に「AF. on」もしくは「AF. of」が表示されます。点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>で選択できます。
 - 6)再度、<ND/CC> を押す
 調整値表示部にVFRの調整値が表示されます。VFR OFF時は「FroF」が表示されます。点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>で選択できます。
 - 7)再度、<ND/CC> を押す
 調整値表示部がIRIS表示状態になります。

セットアップモード時は、サブメニューの切り替えを行います。
 セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

27. NDフィルター表示部<ND>

調整値表示部に NDフィルター位置を表示しているときに点灯します。

緑点灯 :	スタンダード位置
黄点灯 :	スタンダード位置以外

28. CCフィルター表示部<CC>

調整値表示部にCCフィルター位置を表示しているときに点灯します。

緑点灯 :	スタンダード位置
黄点灯 :	スタンダード位置以外

<NOTE>
 CCフィルターは、未対応の機種もあります。

**29. M.GAIN/M.PED表示選択ボタン<M.GAIN/M.PED>
EXITボタン<EXIT>(セットアップモード時)**

M.GAINおよびM.PEDの調整値を表示、変更するときを押します。M.PEDは表示のみで、調整はデータセットボタン<UP><DOWN>ではできません。アイリスレバーのマスターペダスタルボリューム<M.PED>で調整します。

- M.GAIN/M.PED表示、設定のしかた
 - 1) IRIS表示状態もしくは他の表示選択状態 (ND/CC、SHUTTER) で<M.GAIN/M.PED>を押す
 ボタンが点灯するとともにM.GAIN表示部<M.GAIN>が緑点灯します。
 - 2)点灯しているデータセットボタン<UP> <DOWN>を押す
 M.GAIN調整値を変更できます。
 - 3)再度、<M.GAIN/M.PED>を押す
 M.GAIN表示部<M.GAIN>が消灯し、M.PED表示部<M.PED>が緑点灯します。
 - 4)再度、<M.GAIN/M.PED>を押す
 ボタンが消灯するとともにM.PED表示部<M.PED>が消灯します。
 このとき調整値表示部はIRIS表示に戻ります。

<NOTE>
 M.PEDの調整は、マスターペダスタルボリュームで行います。(表示状態にかかわらず常時有効です)
 他の表示選択ボタン (<ND/CC>、<SHUTTER>) を押すとこのボタンは消灯して選択した表示になります。

セットアップモード時に約2秒間押しと、セットアップモードを終了します。
 セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

30. M.GAIN表示部<M.GAIN>

調整値表示部にM.GAIN調整値を表示しているときに緑点灯します。M.GAINが調整対象に選択されているときは、M.GAINの調整値表示部が点灯します。

31. M.PED表示部<M.PED>

調整値表示部にM.PED調整値を表示しているときに緑点灯します。調整値表示部にM.PED以外を表示している場合に、マスターペダスタルボリューム<M.PED>を操作したとき約2秒間M.PED調整値を表示します。

<NOTE>
 M.PEDの調整は、マスターペダスタルボリューム<M.PED>で行います。(表示状態にかかわらず常時有効です)

32. SHUTTER表示選択ボタン<SHUTTER>

EXECUTEボタン<EXECUTE>(セットアップモード時)
SHUTTERの調整値を表示、変更するときに押します。

● SHUTTERの表示、設定のしかた

シャッターON/OFFボタン<SHUTTER ON>で、シャッター動作をONにします。

STEP/SYNC選択ボタン<STEP/SYNC>を約2秒間押すと、調整値をSTEPとSYNCで切り替えることができます。SYNCHRO選択時はSYNCHRO表示部が緑に点灯します。

1) IRIS表示状態もしくは他の表示選択状態 (NDフィルター/CCフィルター、M.GAIN/M.PED) で<SHUTTER>を押す
STEP選択時は、調整値表示部にSHUTTER調整値が表示されます。(SYNC選択時は表示されない機種もあります)

2) 点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>を押す
SHUTTER調整値を変更できます。(SYNC選択時は変更できない機種もあります)

3) 再度<SHUTTER>を押す

ボタンが消灯するとともにSHUTTER表示部<SHT>が消灯します。

このとき調整値表示部はIRIS表示に戻ります。

他の表示選択ボタン (<ND/CC>、<M.GAIN/M.PED>) を押すとこのボタンは消灯して選択した表示になります。

セットアップモード時は、メニューや設定値を確定します。
セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

33. SHUTTER表示部<SHT>

調整値表示部にSHUTTER調整値を表示しているときに、緑点灯します。

<NOTE>

シャッターON動作時にSTEP/SYNC選択ボタン<STEP/SYNC>を約2秒間押すと、調整値をSTEPとSYNCで切り替えることができます。SYNCHRO選択時はSYNCHRO表示部<SYNC>が緑点灯します。

34. SYNCHRO表示部<SYNC>

調整値表示部にSHUTTER(SYNC)調整値を表示しているときに緑点灯します。STEP表示時は消灯します。

消灯:	SHUTTERがSTEPモードのとき
点灯:	SHUTTERがSYNCHROモードのとき

<NOTE>

- ・シャッターON動作時にSTEP/SYNC選択ボタンを約2秒間押すと、調整値をSTEPとSYNCHROで切り替えることができます。
- ・SYNCHRO時にシャッタースピード設定を、秒(sec)で表示させるか開角度(deg)で表示させるかは、セットアップモード22番のシンクロシャッター設定メニューで選択します。

35. カメラナンバー 10位表示部<10-19>

カメラナンバーが10~19のときに点灯します。

消灯:	カメラナンバーが1~9
点灯:	カメラナンバーが10~19
点滅:	ナンバーが20~22(セットアップモード時のみ)

36. カメラナンバー表示部<No.>

カメラナンバーおよびセットアップモード時のメニュー番号を表示します。ナンバーが10~19、20~22の場合は1の位の数値を表示します。10の位はカメラナンバー10位表示部で表示します。(カメラナンバー10位表示部が10~19の場合は点灯、20~22の場合は点滅します。)

37. カメラ選択ボタン<SELECT>

制御対象のカメラを選択するときに使用します。

制御対象のカメラレコーダーの設定は、あらかじめROPセットアップソフトウェアで設定ください。

● 制御対象のカメラ選択のしかた

本機に接続されているカメラレコーダーを選択して制御することができます。

1) カメラ選択ボタン<SELECT>を約2秒間長押しする

カメラナンバー表示部のカメラ番号が点滅します。

2) 点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>を押す

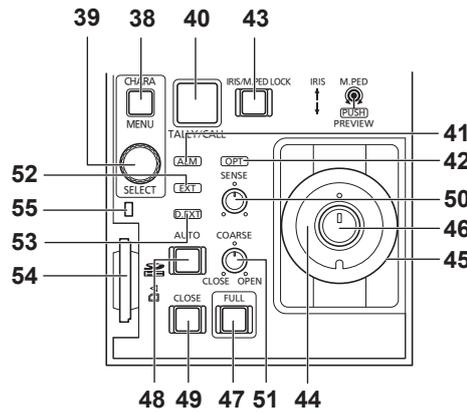
点灯しているデータセットボタン<UP><DOWN>を押し、カメラ番号を選択します。

3) カメラ選択ボタン<SELECT>を押す

選択したカメラの制御が可能になります。

● 複数のROPの接続時の注意

2台以上のROPを1台のカメラレコーダーに接続しないでください。同時に2台以上のROPからの制御を受けることができません。



38. キャラクター/メニューボタン<CHARA/MENU>

カメラレコーダーのモニター出力に表示するステータスやメニューの表示を切り替えます。

- 短押し(点灯): ステータス表示をON(表示)します。
- 長押し(点灯): メニューをON(表示)します。
- 長押し(消灯): メニュー、ステータス表示をOFFします。

<NOTE>

カメラレコーダーの機種によりモニター出力やメニューなどの表示が異なりますので、本体の取説を参照ください。

39. 選択ダイヤル<SELECT>

カメラメニューを表示しているときに、メニュー操作を行います。カメラメニューについては、カメラの取扱説明書を参照してください。

- 右に回す: 選択値の増加、メニューの下方向選択
- 左に回す: 選択値の減少、メニューの上方向選択
- 押す: 選択値の確定、メニューの選択確定

<NOTE>

メニュー非表示で、ZOOM/FOCUS設定モード時には、ZOOM/FOCUS操作ダイヤルとなります。*1 (→30ページ)

*1 未対応の機種もあります。

40. レッド/グリーンタリー表示部、コールボタン

<TALLY/CALL>

カメラレコーダーのタリー信号がONのときに赤点灯または緑点灯します。

カメラレコーダー操作時は、コールボタンは使用できません。

- 点灯(赤): 操作中のカメラのRタリーがON状態です。
- 点灯(緑): 操作中のカメラのGタリーがON状態です。
- 消灯: 操作中のカメラのタリーがOFF状態です。

<NOTE>

- ・カメラレコーダーのタリー信号が、赤と緑の両方がONのときには、赤点灯が優先されます。
- ・<VF POWER>との同時長押しで、カメラレコーダーに対して、Rタリー信号をON/OFFします。押すたびにON/OFFが切り替わります。
- ・<SETUP>の長押しで、カメラレコーダーに対して、Gタリー信号をON/OFFします。押すたびにON/OFFが切り替わります。

41. アラーム表示部<ALM>

警告表示灯です。

異常の場合は、販売店にご相談ください。

- 点灯: カメラレコーダーからアラームを受信しています。
- 点滅: 本機の電源電圧が低下していることを示します。
- 消灯: 正常動作状態

42. 光アラーム表示部<OPT>

カメラレコーダーでは無効です。

43. アイリス/マスターペダスタルロックボタン

<IRIS/M.PED LOCK>

アイリス、M.PEDを操作無効(ロック)にします。

このとき赤に点灯します。もう一度ボタンを押すとロックが解除されます。

- 消灯: アイリス、M.PEDが制御できません。
- 赤点灯: 操作無効(ロック)状態です。

操作無効(ロック)中に、アイリスレバーが動かされたことを示しています。

アイリスレバーをロック時の位置に戻すと、消灯して通常の制御が可能になります。

制御対象のカメラを切り替えたときに、カメラの調整値とアイリスレバーの位置がずれている場合も点滅します。アイリスレバーを動かして、カメラの調整値と一致した時点で消灯して通常の制御が可能になります。

操作無効(ロック)中に、マスターペダスタルボリューム<M.PED>が動かされたことを示しています。

マスターペダスタルボリューム<M.PED>をロック時の位置に戻すと、消灯して通常の制御が可能になります。

制御対象のカメラを切り替えたときに、カメラの調整値とマスターペダスタルボリューム<M.PED>の位置がずれている場合も点滅します。マスターペダスタルボリューム<M.PED>を動かして、カメラの調整値と一致した時点で消灯して通常の制御が可能になります。

- 赤点滅:
(1秒ごとの早い点滅)

- 赤点滅:
(2秒ごとの遅い点滅)

44. アイリスレバー<IRIS(↑↓)>

アイリスのレベル調整器です。

アイリス/マスターペダスタルロックが消灯時に有効です。

オートアイリスでない場合は、アイリスのマニュアル(手動)調整ができます。

アイリス手動調整(<IRIS/M.PED LOCK>と<AUTO>のボタンが消灯している状態)の場合

- 手前: アイリスをCLOSE方向に調整します
- 奥: アイリスをOPEN方向に調整します

オートアイリスモードが有効なとき(オートアイリスボタン<AUTO>点灯時)は、カメラレコーダーのオートアイリスの収束レベルを調整します。

45. マスターペダスタルボリューム<M.PED>

マスターペダスタルのレベル調整器です。右回しでマスターペダスタルが上がります。

マスターペダスタルボリューム<M.PED>を動かすと、調整値表示部に調整値が約2秒間表示されます。

マスターペダスタルとR、G、Bペダスタル調整は独立しており、マスターペダスタルを回してもR、G、Bペダスタルの調整値は変わりません。

M.GAIN/M.PED表示選択ボタン<M.GAIN/M.PED>を2回押すと、調整値表示部に調整値が表示されます。

46. プレビューボタン<PREVIEW>

プレビュー端子からプレビュー信号を出力します。(→34ページ)

- ON(押す): プレビュー出力ON
- OFF: プレビュー出力OFF

47. フェーダーフルボタン<FULL>

カメラレコーダーでは常時 ON (点灯) 状態です。
アイリスレバーの可変範囲は OPEN から CLOSE までの全域です。

48. オートアイリスボタン<AUTO>

オートアイリス機能を有効にします。

点灯:	オートアイリスモードが有効
消灯:	アイリスレバーによるアイリスの手動 (マニュアル) 調整が有効

49. アイリスクローズボタン<CLOSE>

アイリスを強制的に CLOSE します。

点灯:	アイリスを強制的に CLOSE します
消灯:	アイリス CLOSE を解除します

50. センスボリューム<SENSE>

ZOOM/FOCUS の速度を調整できます。*1

右に回す:	速度が速くなります
左に回す:	速度が遅くなります

*1 未対応の機種もあります。

51. コースボリューム<COARSE>

カメラレコーダーでは無効です。

52. レンズエクステンダー表示<EXT>

レンズエクステンダーが 1 倍以外の設定にあることを警告します。

点灯:	レンズエクステンダーが 1 倍以外の設定です
消灯:	レンズエクステンダーを使用していないか、機能が無効です

53. デジタルエクステンダー表示<D.EXT>

デジタルエクステンダーが 1 倍以外の設定にあることを警告します。

点灯:	デジタルエクステンダーが 1 倍以外の設定です
消灯:	デジタルエクステンダーを使用していないか、機能が無効です

<NOTE>

カメラレコーダーでシリアル接続の場合は、表示できません。

54. メモリーカードスロット

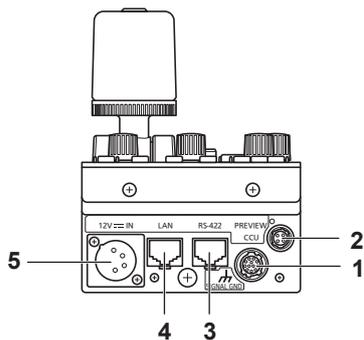
メモリーカードを挿入します。
本機の設定をメモリーカードに保存することができます。
ただし、カメラレコーダーのシーンファイル、ユーザーファイル、レンズファイルについては保存、読み出しすることが出来ません。
本機で使用可能なメモリーカードについては、6 ページを参照ください。

55. メモリーカードアクセス中表示

メモリーカードの読み出し中、書き込み中に点灯します。

各部の名前とはたらき (端子、ディップスイッチ)

端子面



1. CCU端子<CCU>

(ヒロセ電機製：HR10A-10R-10PC(71))

カメラのCCUもしくは、カメラレコーダーのシリアルに接続する端子です。

ピン番号	機能	極性	信号の流れ
1	CAM DATA(H)	+	CAM→ROP
2	CAM DATA(L)	-	CAM→ROP
3	CAM CONT(H)	+	ROP→CAM
4	CAM CONT(L)	-	ROP→CAM
5	CAM No.A		
6	CAM No.B		
7	CAM No.C		
8	CAM No.D		
9	12V		
10	GND		

2. プレビュー端子<PREVIEW>

(ヒロセ電機製：HR10A-7R-4PC(73))

ピン番号1、2は、プレビュー信号を出力する端子です。アイリスレバーを押している間、接点出力します。無電圧メーク接点です。ピン番号3、4はタリー信号を入力する端子です。両端子間がメークされるとタリー信号がONとなります。

タリー入力は、リモートカメラおよびカメラレコーダー接続時のみ有効です。タリー入力に割り当てるカメラナンバーは、セットアップモードで設定します。

セットアップモードについては、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

ピン番号	機能	信号の流れ	備考
1	P.VIEW1	ROP→外部制御	無電圧メーク
2	P.VIEW2	ROP→外部制御	無電圧メーク
3	EXTRA1	TALLY→ROP	無電圧メーク
4	EXTRA2	TALLY→ROP	無電圧メーク

3. RS-422端子<RS-422> (RJ-45 端子)

シリアル接続対応のリモートカメラをLANケーブルで接続します。ストレートケーブル (カテゴリ5以上のシールドケーブル) で接続してください。

4. IP接続端子<LAN> (RJ-45 端子)

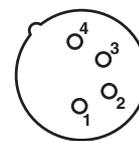
IP接続対応のCCU、リモートカメラ、カメラレコーダーおよびパーソナルコンピュータをLANケーブルで接続します。本機と機器を直接接続する場合は、クロスケーブル (カテゴリ5以上のシールドケーブル) で接続してください。ハブ (スイッチングハブ) (100base-TX) などを経由して接続する場合は、ストレートケーブル (カテゴリ5以上のシールドケーブル) で接続してください。

5. DC12V端子<12V IN>

(ヒロセ電機製：HA16RA-4P(77))

ACアダプターからのDC12V供給用の端子です。

ピン番号	機能
1	GND
2	NC
3	NC
4	+12V



<NOTE>

外部電源はIP接続時 (CCU未接続時) に使用します。

■ 外部DC電源について

外部DC電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。

外部DC電源の出力電流は、接続機器の合計電流以上で、余裕のあるものをお選びください。

接続機器の合計電流は、

$$\text{総消費電力} \div \text{電圧}$$

で求めることができます。

本機の電源投入時には、突入電流が発生します。電源投入時に電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。本機の総消費電力の2倍以上の電力を確保できる外部DC電源のご使用をお勧めします。また、DCコードはご使用になる外部DC電源推奨のものをお選びください。

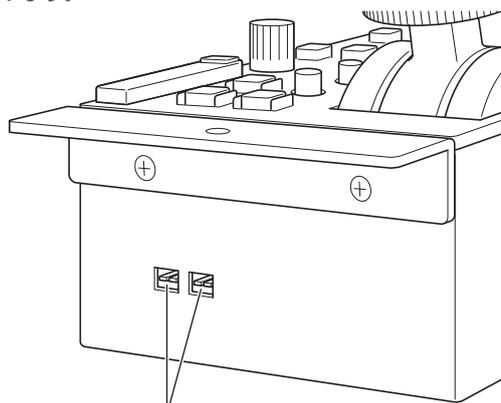
外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると、火災や故障の原因となります。

ディップスイッチ

手前側面にあるディップスイッチ (4ピン) は、工場調整用ですので触れないようにしてください。

<NOTE>

工場出荷時は、全てのピンは上側に設定されています。



ディップスイッチ

システム接続図

システム接続構成

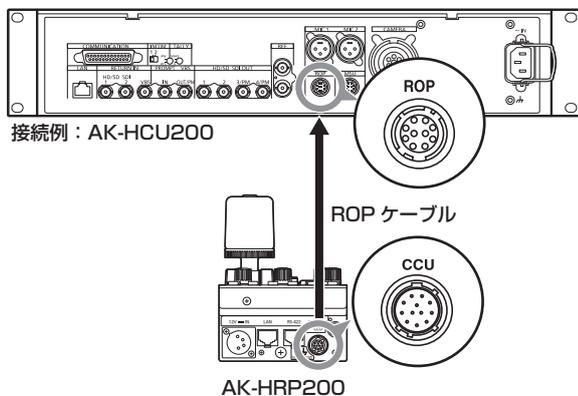
- 本機は、CCUまたはリモートカメラ、カメラレコーダーをシリアル接続もしくはIP接続することができます。
 - CCUとリモートカメラ、カメラレコーダーを最大19台まで制御可能です。
 - シリアル接続は、CCUもしくはリモートカメラのいずれか1台が可能です。
CCUのシリアル接続とリモートカメラのシリアル接続を同時に使うことはできません。
 - シリアル接続1台とIP接続18台の構成も可能です。
 - CCUおよびリモートカメラ、カメラレコーダーをIP接続するときは、ROPセットアップソフトウェアをパーソナルコンピュータにインストールして設定する必要があります。(→6ページ「ソフトウェアについて」参照) ROPセットアップソフトウェアについては取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)
- なお、カメラレコーダにIP接続するときのROPセットアップソフトウェアは、Ver.3.0.0.0以上のバージョンを使用してください。

動作モード*1	接続構成	シリアル接続			IP接続	ROPセットアップソフトウェアの使用
		CCU	リモートカメラ	カメラレコーダー		
シリアル接続モード	CCUをシリアル接続する構成	○ (1台のみ)	× (接続不可)	× (接続不可)	— (接続しない)	不要
	リモートカメラをシリアル接続する構成	× (接続不可)	○ (1台のみ)	× (接続不可)	— (接続しない)	
	カメラレコーダーをシリアル接続する構成	× (接続不可)	× (接続不可)	○ (1台のみ)	— (接続しない)	
IP接続モード	IP接続のみの構成	— (接続しない)	— (接続しない)	— (接続しない)	○ (合計19台まで)	必要
	CCUをシリアル接続し、IP接続も併用する構成	○ (1台のみ)	× (接続不可)	× (接続不可)	○ (合計18台まで)	
	リモートカメラをシリアル接続し、IP接続も併用する構成	× (接続不可)	○ (1台のみ)	× (接続不可)	○ (合計18台まで)	
	カメラレコーダーをシリアル接続し、IP接続も併用する構成	× (接続不可)	× (接続不可)	○ (1台のみ)	○ (合計18台まで)	

*1 動作モードについては、操作設定編を参照ください

CCUとの接続

■シリアル(ROPケーブル)接続

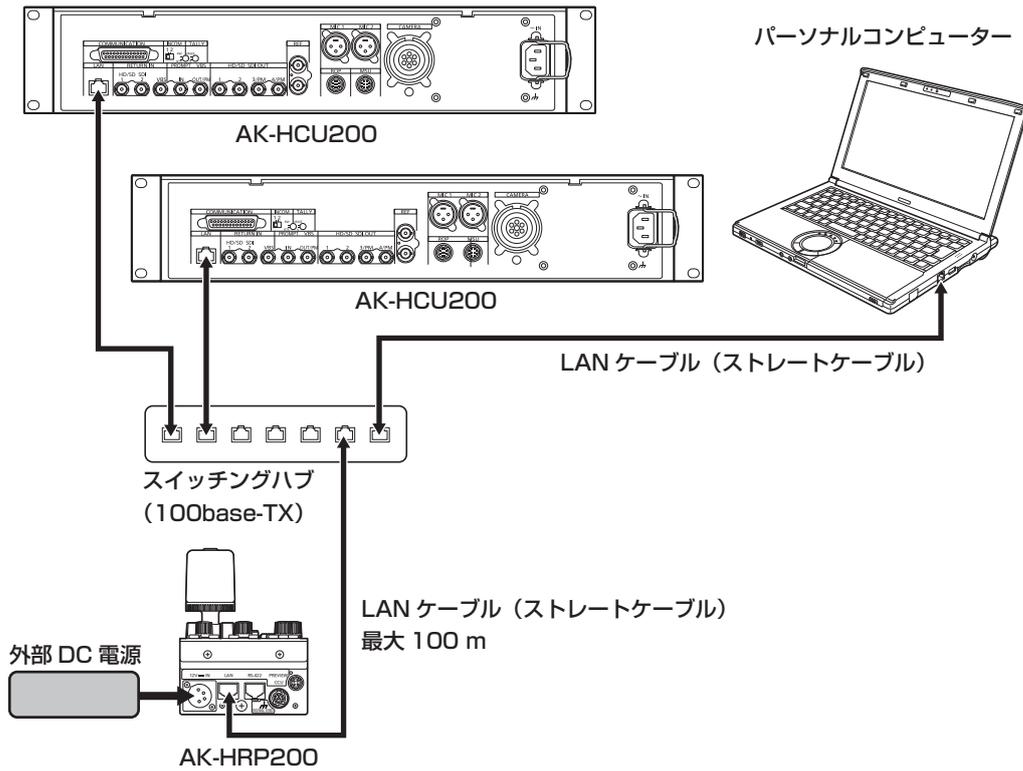


1. 本機のCCUコネクターと、CCU背面のROPコネクターを専用のROPケーブル(別売品)で接続する
2. 接続が完了したら、CCUの主電源をONにしてから、カメラの電源をONにする

<NOTE>

- カメラが接続されていない場合は、本機からCCUへの制御機能は一部制限されます。
- ROPケーブルを外す前に、必ずCCUの電源をOFFにしてください。

■ IP 接続



1. 本機のIP接続端子<LAN>と、CCU背面のLANコネクタをLANケーブル(別売品)で接続する

- LANケーブルは、スイッチングハブ(100base-TX)を接続する場合は、ストレートケーブル(カテゴリ5以上のシールドケーブル)を使用してください。スイッチングハブを接続しない場合は、クロスケーブル(カテゴリ5以上のシールドケーブル)を使用してください。

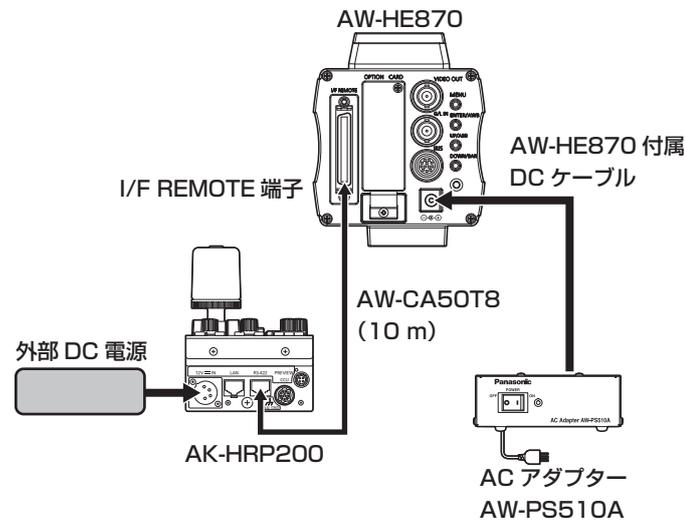
2. 接続が完了したら、CCUの主電源をONにするとともに本機の外部DC電源とカメラの電源をONにする

< NOTE >

- カメラが接続されていない場合は、本機からCCUへの制御機能は一部制限されます。
- 本機から最大19台までのCCU(AK-HCU200)を制御可能です。
- CCUとIP接続で使用する場合は、ROPセットアップソフトウェアによる設定が必要です。(→6ページ「ソフトウェアについて」参照) ROPセットアップソフトウェア使用時は、LANケーブルでパーソナルコンピュータを接続してください。
- IP接続の設定については、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

リモートカメラとの接続

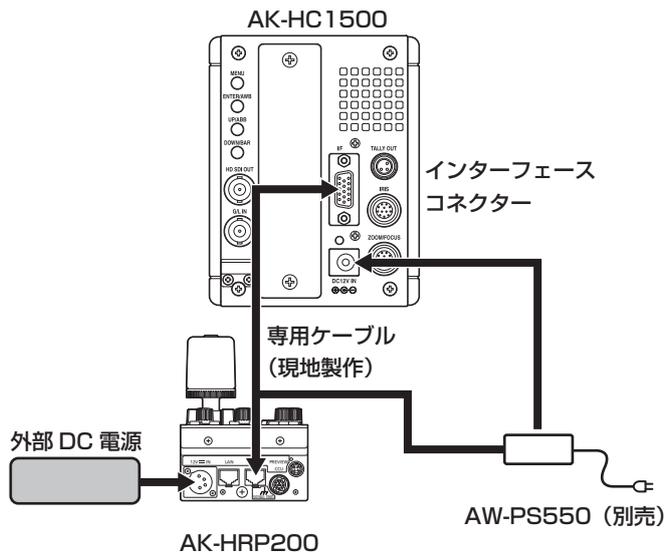
■ シリアル接続(AW-HE870)



1. 本機のRS-422端子<RS-422>とAW-HE870のI/F REMOTE端子を別売の接続ケーブルAW-CA50T8で接続する

2. 接続が完了したら、カメラの電源と本機の電源をONにする

■ シリアル接続 (AK-HC1500)

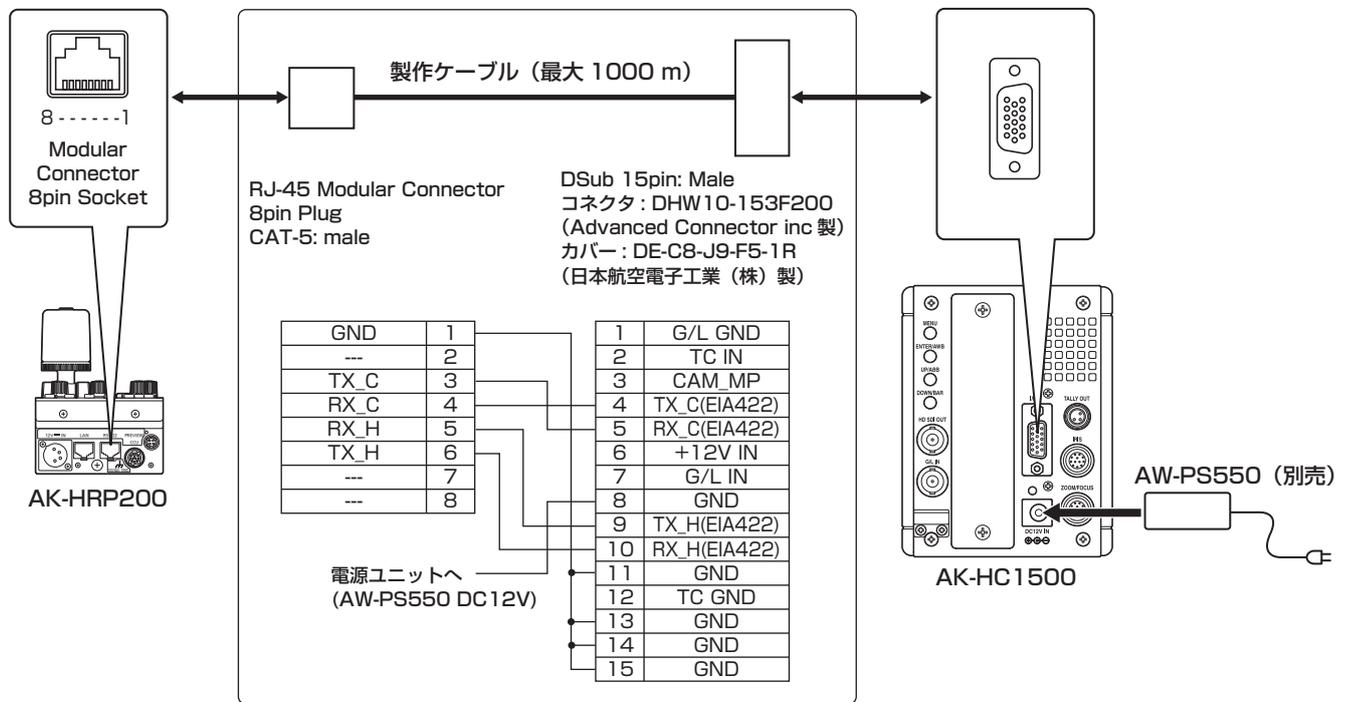


1. 本機のRS-422端子<RS-422>とAK-HC1500のインターフェースコネクタを専用ケーブルで接続する
・ケーブルの仕様は下図を参照してください。
2. 接続が完了したら、カメラの電源と本機の電源をONにする

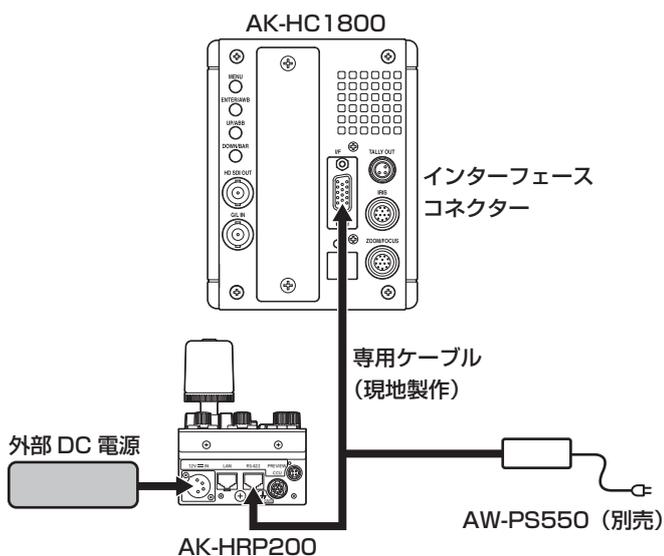
< NOTE >

AK-HC1500の通信プロトコルの設定は、「PROTOCOL3」(コンパチブルPC制御プロトコル)に設定します。
設定は必ず設定する前にカメラ単体で行ってください。

ケーブル仕様



■ シリアル接続 (AK-HC1800)



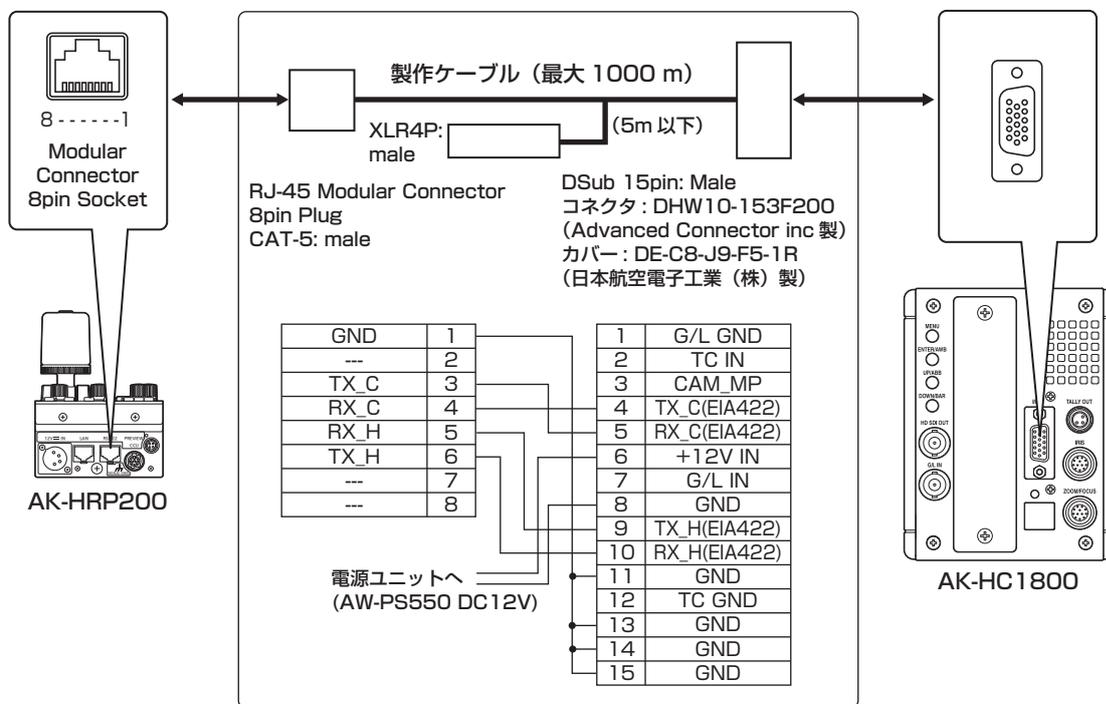
1. 本機のRS-422端子<RS-422>とAK-HC1800のインターフェイスコネクタを専用ケーブルで接続する
 ・ケーブルの仕様は下図を参照してください。

2. 接続が完了したら、カメラの電源と本機の電源をONにする

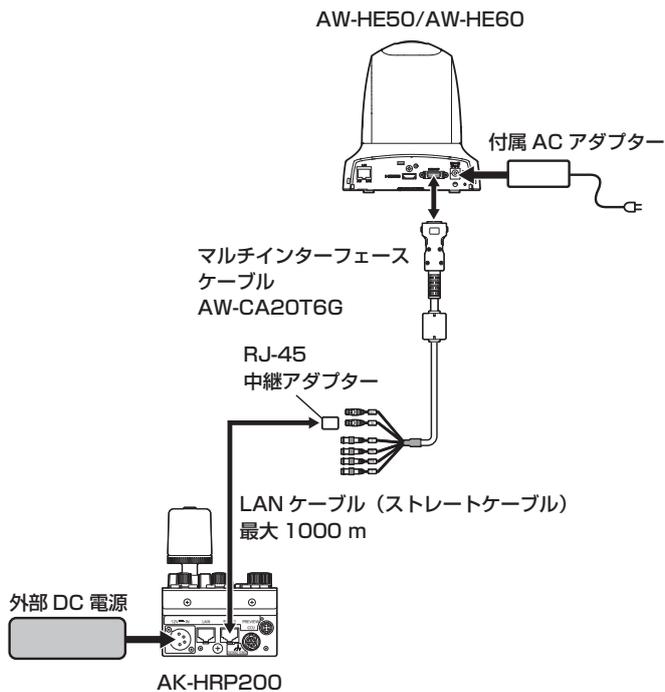
< NOTE >

AK-HC1800の通信プロトコルの設定は、「PROTOCOL3」(コンパチブルPC制御プロトコル)に設定します。
 設定は必ず設定する前にカメラ単体で行ってください。

ケーブル仕様



■ シリアル接続 (AW-HE50/AW-HE60)



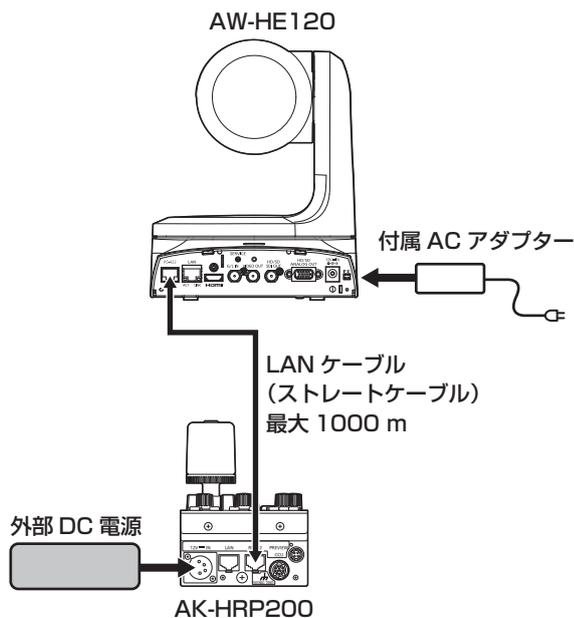
1. 本機のRS-422端子<RS-422>と、カメラ (AW-HE50/ AW-HE60) を接続する。AW-HE50/ AW-HE60 のMULTI-I/F 端子<MULTI-I/F>に接続したマルチインターフェースケーブル (AW-CA20T6) (別売品) およびRJ-45 中継アダプター (別売品) を介して、LANケーブル (別売品) で接続する

2. 接続が完了したら、カメラの電源と本機の電源をONにする

<NOTE>

- リモートカメラ (AW-HE50/AW-HE60) とシリアル接続する場合は、マルチインターフェースケーブル (AW-CA20T6G) が必要です。
- LANケーブルは、ストレートケーブル (カテゴリー5以上のシールドケーブル) を使用してください。

■ シリアル接続 (AW-HE120)



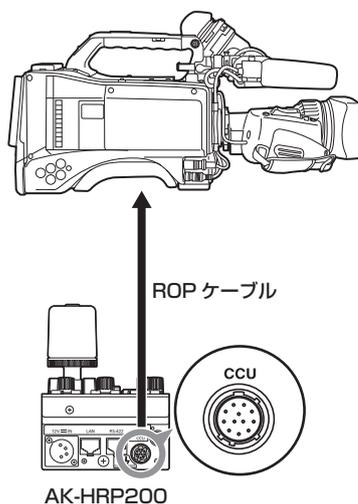
1. 本機のRS-422端子<RS-422>と、カメラ (AW-HE120) を接続する。AW-HE120のRS-422端子にLANケーブル (別売品) で接続する

2. 接続が完了したら、カメラの電源と本機の電源をONにする

<NOTE>

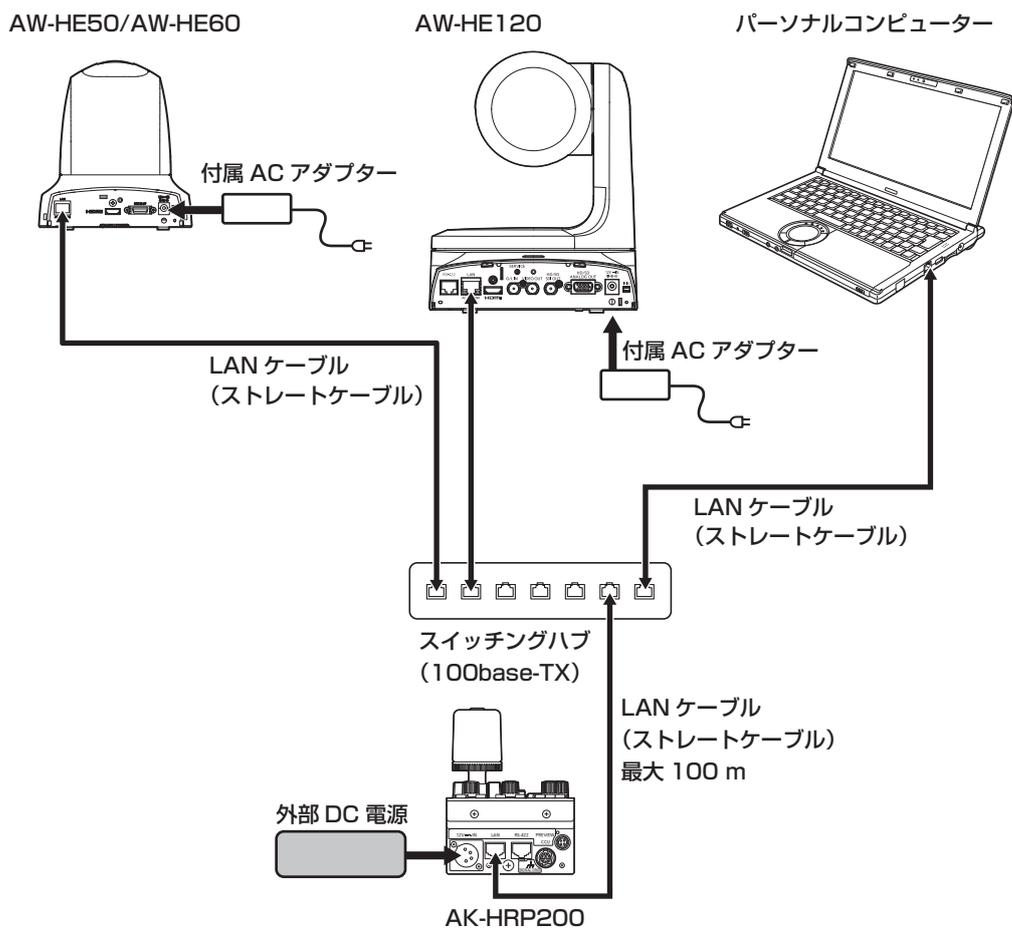
- LANケーブルは、ストレートケーブル (カテゴリー5以上のシールドケーブル) を使用してください。

■ シリアル接続 (カメラレコーダー)



1. 本機のCCUコネクターと、カメラレコーダーのコネクターを専用のROPケーブル (別売品) で接続する

■ IP接続 (AW-HE50/AW-HE60/AW-HE120)



1. 本機のIP接続端子<LAN>と、カメラ (AW-HE50/ AW-HE60/ AW-HE120) のLANコネクタをLANケーブル (別売品) で接続する

- LANケーブルは、スイッチングハブ (100base-TX) を接続する場合は、ストレートケーブル (カテゴリー5以上のシールドケーブル) を使用してください。スイッチングハブを接続しない場合は、クロスケーブル (カテゴリー5以上のシールドケーブル) を使用してください。

2. 接続が完了したら、カメラの電源をONにするとともに本機の外部DC電源をONにする

< NOTE >

- 本機から最大19台までのカメラ (AW-HE50/ AW-HE60/ AW-HE120) を制御可能です。
- リモートカメラとIP接続で使用する場合は、ROPセットアップソフトウェアによる設定が必要です。(→6ページ「ソフトウェアについて」参照) ROPセットアップソフトウェア使用時は、LANケーブルでパーソナルコンピュータを接続してください。
- IP接続では、CCUとの混在も可能です。CCUとのIP接続のしかたについては36ページを参照してください。
- IP接続の設定については、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)

カメラレコーダーとの接続

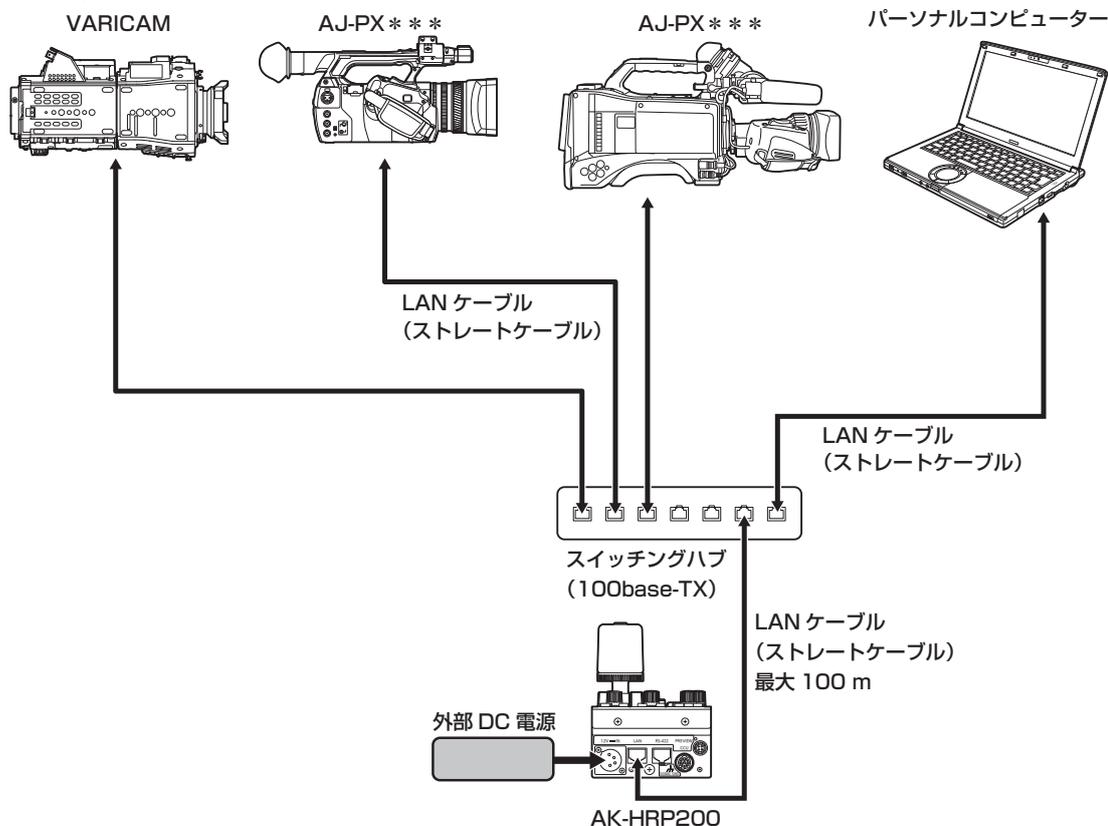
■ IP接続

<NOTE>

カメラレコーダーがIP接続が可能かどうかは、カメラレコーダーの取扱説明書、もしくは下記のWebサイトをご参照ください。

(日本語) <https://panasonic.biz/cns/sav/>

(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>



1. 本機のIP接続端子<LAN>と、カメラレコーダーのLANコネクタをLANケーブル(別売品)で接続する

- LANケーブルは、スイッチングハブ(100base-TX)を接続する場合は、ストレートケーブル(カテゴリー5以上のシールドケーブル)を使用してください。スイッチングハブを接続しない場合は、クロスケーブル(カテゴリー5以上のシールドケーブル)を使用してください。

2. 接続が完了したら、カメラの電源をONにするとともに本機の外部DC電源をONにする

<NOTE>

- 本機から最大19台までのカメラレコーダーおよびリモートカメラを制御可能です。
- カメラレコーダーおよびリモートカメラとIP接続で使用する場合は、ROPセットアップソフトウェアによる設定が必要です。(→6ページ「ソフトウェアについて」参照)
ROPセットアップソフトウェアは、Ver.3.0.0.0以上のバージョンを使用してください。*1 ROPセットアップソフトウェア使用時は、LANケーブルでパーソナルコンピュータを接続してください。
- IP接続では、CCUとの混在も可能です。CCUとのIP接続のしかたについては36ページを参照してください。
- IP接続の設定については、取扱説明書<操作設定編>を参照してください。(→6ページ「取扱説明書について」参照)
下記のWebサイトにて、最新の取扱説明書をご参照ください。
<http://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>

*1 ソフトウェアの最新情報は、下記Webサイトのサポートデスクを参照ください
(日本語) <https://panasonic.biz/cns/sav/>
(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。
万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■性能部品の保有期間 **8年**

当社では、リモートオペレーションパネルの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年間保有しています。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。
部品の磨耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。
定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	リモートオペレーションパネル
品番	AK-HRP200G
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

■総合

電源入力

電源 : DC (==) 12 V、0.35 A (DC入力範囲 DC 10 V - DC 16 V)
消費電力 : 4.2 W

は安全項目です。

CCU制御 : ・コントロール信号(カメラ本体/CCU制御)

・電源給電(DC 12 V)*1

*1 CCUおよびACアダプターから給電可

PREVIEW制御 : 接点入出力

制御ケーブル最大延長距離

: 50 m

動作温度 : 0 °C ~ 40 °C

保存温度 : - 20 °C ~ 60 °C

湿度 : 90 %以下

外形寸法(幅×高さ×奥行)

: 92 mm × 308 mm × 55 mm(突起部含まず)

質量 : 約 1.3 kg

番号

5600 K ボタン 12, 20, 27

B

B ゲインボリューム 14, 21, 28

B フレア/ペDESTALボリューム 14, 21, 28

C

CCU 端子 34

CC フィルター 16

CC フィルター表示部 16, 23, 30

D

DC 12V 端子 34

DTL ボリューム 14, 21, 28

E

EXECUTE ボタン 17, 24, 31

EXIT ボタン 16, 23, 30

I

IP 接続端子 34

IP 接続モード 10

IRIS 表示部 15, 22, 29

M

M.GAIN/M.PED 16, 23, 30

M.GAIN/M.PED 表示選択ボタン 16, 23, 30

M.GAIN 表示部 16, 23, 30

M.PED 表示部 16, 23, 30

N

ND フィルター 16, 23, 30

ND フィルター/CC フィルター表示選択ボタン 16, 23, 30

ND フィルター表示部 16, 23, 30

R

RS-422 端子 34

R ゲインボリューム 14, 21, 28

R フレア/ペDESTALボリューム 14, 21, 28

S

SAVE/LOAD ボタン 16, 23, 30

SHUTTER 17, 24, 31

SHUTTER 表示選択ボタン 17, 24, 31

SHUTTER 表示部 17, 24, 31

STEP/SYNC 選択ボタン 12, 20, 27

SYNCHRO 表示部 17, 24, 31

あ

アイリスクローズボタン 19, 26, 33

アイリス/マスターペDESTALロックボタン 18, 25, 32

アイリスレバー 19, 25, 32

アラーム表示部 18, 25, 32

お

オートアイリスボタン 19, 26, 33

オートセットアップ 12

オートセットアップボタン 12, 20, 27

オートブラックバランスボタン 11, 20, 27

オートホワイトバランスボタン 11, 20, 27

か

外形寸法図 9

カメラ選択ボタン 17, 24, 31

カメラ電源ボタン 11, 20, 27

カメラナンバー 10 位表示部 17, 24, 31

カメラナンバー表示部 17, 24, 31

カラーバー信号出力ボタン 11, 20, 27

き

キャラクター/メニューボタン 18, 25, 32

こ

コースボリューム 19, 26, 33

コールボタン 18, 25, 32

し

シーンファイル

登録 13

呼び出し 13

シーン/ユーザーファイル切り替えボタン 13, 21, 28

シーン/ユーザーファイル選択ボタン 13, 21, 28

シーン/ユーザーファイル登録ボタン 13, 21, 28

シャッターON/OFF ボタン 12, 20, 27

シリアル接続モード 10

せ

接続 35

センスボリューム 19, 26, 33

選択ダイヤル 18, 25, 32

ち

調整値表示部 15, 22, 29

て

定格 42

ディップスイッチ 34

ディテールOFF ボタン 12, 20, 27

データセットボタン 15, 22, 29

デジタルエクステンダー表示 19, 26, 33

と

動作モード 10

に

ニーOFF ボタン 12, 20, 27

は

肌色ディテールボタン 12, 20, 27

ひ

光アラーム表示部 18, 25, 32

ビューファインダー電源ボタン 11, 20, 27

ふ

フェーダーフルボタン 19, 26, 33

プレビュー端子 34

プレビューボタン 19, 26, 32

ほ

ボリュームロック 14, 21, 28

ボリュームロックボタン 14, 21, 28

ま

マスターペDESTALボリューム 19, 25, 32

マトリクスボタン 12, 20, 27

め

メモリーカードアクセス中表示 19, 26, 33

メモリーカードスロット 19, 26, 33

ゆ

ユーザーファイル

登録 13

呼び出し 13

ら

ラックマウント 8

ラックマウント用金具 8

れ

レッド/グリーンタリ表示部 18, 25, 32

レンズエクステンダー表示 19, 26, 33

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2012-2013